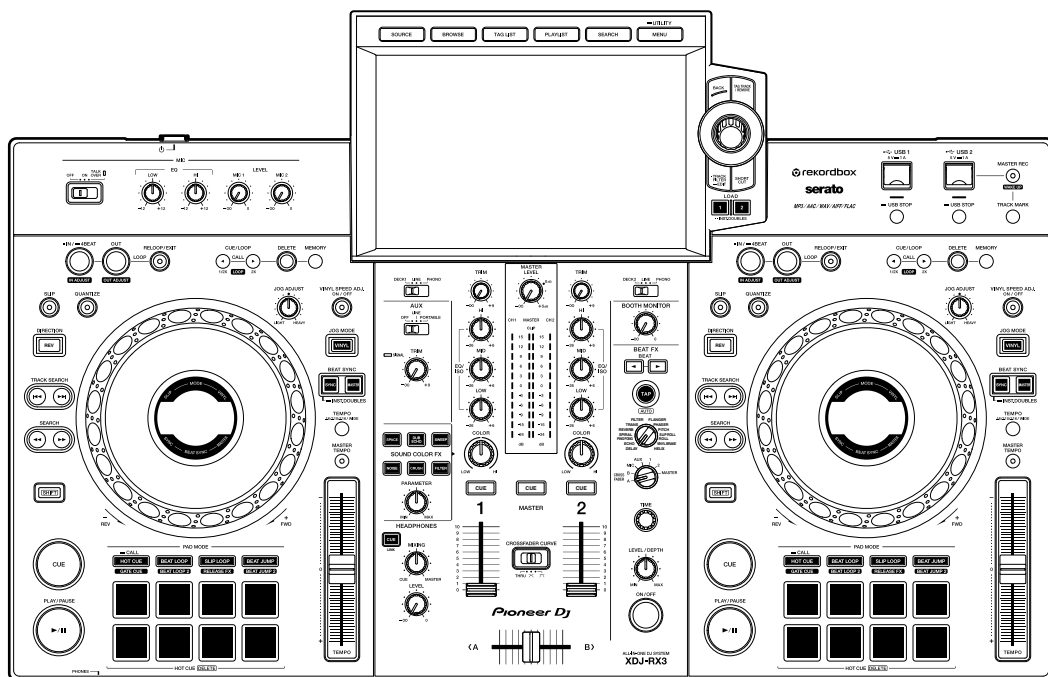




オールインワンDJシステム

XDJ-RX3

pioneerdj.com/support/

rekordbox.com

serato.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

もくじ

はじめに	7
本書の見かた	7
付属品を確認する	7
マニュアルを閲覧する	8
本機の概要.....	9
システム概要.....	9
rekordbox	12
PRO DJ LINK	13
Serato DJ Pro.....	13
PC / Mac の準備.....	14
設定ユーティリティを使う	17
各部の名称.....	20
コントロールパネル	20
本体フロント部	21
本体リア部	21
本体表示部	23
ジョグ表示部.....	30
接続（基本スタイル）.....	32
PRO DJ LINK 接続	32
メディアの挿入と取り外し.....	34
USB セクション	34
USB デバイス.....	35
選曲.....	36
ブラウズセクション	36
ソースを選択する	37
トラックを選択する	37

トラックを並べ替える	38
トラックを探す	38
ロードする前に音声を確認する (TOUCH PREVIEW)	42
トラックをロードする	42
HISTORY を使う	44
タグリストを使う	45
プレイリスト画面を表示する	49
再生.....	52
デッキセクション	52
再生／一時停止する	53
全体波形上の触れた位置から再生する	54
逆再生する	54
再生中の基本操作	55
再生速度を調整する (テンポコントロール)	55
音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)	56
録音.....	57
録音しながらトラックを分割する	57
ジョグの操作	58
ジョグセクション	58
操作モードを切り替える	59
ジョグを操作する	59
ジョグの回転負荷を調整する	60
再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)	60
キュー	61
キューポイントを設定する	61
キューポイントに戻る	61
キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)	62
キューポイントを保存する	62
保存したキューポイントを呼び出す	62

保存したキューポイントを削除する	63
オートキューを設定する	63
ループ	64
ループを設定する	64
ループポイントを微調整する	65
ループの長さを調整する	65
ループインポイントに戻ってループ再生する（リトリガー）	66
アクティブループを使う	66
ループ再生を解除する	66
エマージェンシーループ	66
ループポイントを保存する	67
保存したループポイントを呼び出す	67
保存したループポイントを削除する	67
クオンタイズ（デッキ用）	68
クオンタイズを使う	68
スリップ	69
スリップモードを設定する	70
ビートシンク	71
ビートシンクを使う	71
インスタントダブルスを使う	72
ビートグリッド	73
ビートグリッドを調整する	73
パフォーマンスパッドの操作	74
パフォーマンスパッドセクション	74
ホットキュー／ゲートキュー	75
ビートループ	79
スリッパーループ	80
リリース FX	81
ビートジャンプ／ループムーブ	82

音声出力	83
チャンネルセクション／マスターセクション	83
音声を出力する	85
チャンネル音声の音質を調整する	86
フェーダーを設定する	86
音声モニター	88
ヘッドホンセクション	88
ヘッドホンで音声をモニターする	88
ブースセクション	89
ブースモニターを使う	89
マイク	90
MIC セクション	90
マイクを使う	91
AUX	92
AUX セクション	92
AUX を使う	93
SOUND COLOR FX	94
SOUND COLOR FX セクション	94
SOUND COLOR FX を使う	95
SOUND COLOR FX の種類と設定方法	96
BEAT FX	98
BEAT FX セクション	98
BEAT FX を使う	99
BPM を手動で設定する（TAP モード）	100
クオンタイズを使う（エフェクト用）	101
BEAT FX の種類と設定方法	102
BEAT FX BANK に BEAT FX を登録する	106
DJ ソフトウェアを使う	107
DJ ソフトウェアを操作する	107

設定	109
設定を変更する	109
UTILITY 設定項目	110
SHORTCUT 画面から設定を変更する	115
SHORTCUT 画面の設定項目	116
記録メディア（USB）から MY SETTINGS を読み込む	118
スペック	119
仕様	119
その他	122
故障かな？と思ったら	122
液晶画面について	123
商標および登録商標について	124
著作権	125

はじめに

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC / Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。(例：[ファイル]、[CUE] ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

付属品を確認する

- 電源コード×1
- USB ケーブル×1
- 保証書（一部の地域）^{*1}×1
- クイックスタートガイド×1
- 使用上のご注意×1
- ソフトウェアのライセンスに関するお知らせ×1

^{*1} 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

マニュアルを閲覧する

❖ rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「イン트로ダクション」は、rekordbox のセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordboxの操作方法を記載しています。

下記のrekordboxサイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

❖ Serato DJ Pro ソフトウェアマニュアル

下記のSerato DJサイトをご確認ください。

serato.com/dj/pro/downloads

本機の概要

システム概要

対応ソース

本機は以下のソースに対応しています。

- － USB デバイス
- － PC / Mac (14 ページ)

❖ USB デバイスについて

USB デバイスは、以下に対応しています。

フォルダー階層	最大 8 階層まで (8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません。)
最大フォルダー数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるフォルダーは表示できません。)
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるファイルは表示できません。)
対応ファイルシステム	FAT16、FAT32、exFAT、HFS+ (NTFS には対応していません。)

- USB マスストレージクラスの USB デバイスに保存されている楽曲ファイルを再生できません。
- フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。
- 外付け DVD / CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使用できません。
- USB ハブは使用できません。
- 本機との接続により、お客様が USB デバイスに保存したデータが損失、またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本機のUSBデバイス挿入口に許容量以上の電流が流れるとUSBインジケーターが点滅し、USBデバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すには、本機に接続されたUSBデバイスを取り外してください。また、過電流が検出されたUSBデバイスは使用しないでください。
上記の方法で正常な状態に戻らない（通信しない）ときは、本機の電源を入れ直してください。
- USBデバイスに複数のパーティションを設定しているときは、最初のパーティションのみ使用できます（rekordboxのライブラリ情報が含まれている場合は、rekordboxのライブラリ情報が格納されているパーティションが優先されます）。
- フラッシュカードリーダー搭載のUSBデバイスは、正常に動作しないことがあります。

対応ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットの楽曲ファイルに対応しています。

種類	拡張子	フォーマット	ビット 処理	ビットレート	サンプリング 周波数	エンコード 方式
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3		32 ~ 320 kbps		
AAC	.m4a、 .aac、 .mp4	MPEG-4 AAC LC MPEG-2 AAC LC	16bit	16 ~ 320 kbps	32 kHz、 44.1 kHz、 48 kHz	CBR、 VBR
WAV	.wav	WAV				
AIFF	.aif、 .aiff	AIFF	16bit、 24bit	—	44.1 kHz、 48 kHz	非圧縮 PCM
FLAC	.flac、 .fla	FLAC				可逆圧縮

- 対応フォーマットのファイルでも再生できないことがあります。

タグ情報

楽曲ファイルのID3タグ（v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0）またはメタタグから、タグ情報を読み込むことができます。

楽曲ファイルのアートワーク

楽曲ファイルには、JPEG形式（拡張子：“jpg”、“jpeg”）のアートワーク画像を追加できます。800 x 800ピクセルより大きいサイズの画像は表示できません。

文字表示

Unicode以外のローカルコードの文字（トラック名など）を表示したいときは、[LANGUAGE]の設定を変更してください（113 ページ）。

rekordbox

rekordbox は楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJアプリケーションです。

- rekordbox の楽曲管理機能を EXPORT MODE と呼びます。EXPORT MODE で管理された楽曲ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れたDJ パフォーマンスを実現できます。
- rekordbox の DJ パフォーマンス機能を PERFORMANCE MODE と呼びます。本機を rekordbox がインストールされたコンピューターに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくても PERFORMANCE MODE の機能を使用することができます。この仕組みを Hardware Unlock と呼びます。
- Hardware Unlock の対象機能については、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com

- rekordbox ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、rekordbox ソフトウェアをダウンロードしてください。

rekordbox.com

- rekordbox の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com/system

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC / Mac の省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型の PC / Mac では、AC 電源を接続するなど、高パフォーマンス設定で rekordbox を使用してください。

モバイルデバイス

rekordbox for iOS がインストールされているモバイルデバイスを接続すると、rekordbox for iOS で管理している楽曲ファイルを本機で再生できます。

- rekordbox for iOS との接続については、下記のサイトから FAQ を参照してください。

rekordbox.com/support/faq/connecting-to-dj-units/

- rekordbox for Android は本機と接続することはできません。

PRO DJ LINK

PRO DJ LINKには、記録メディア（USB）を使用する「USB Export」と、rekordboxがインストールされているPC／Macを使用する「rekordbox LINK Export」があります。

🔌 接続：「PRO DJ LINK接続」（32 ページ）

Serato DJ Pro

Serato DJ Proは、Serato 社製のDJソフトウェアです。

Serato DJ Proソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Proソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com

- Serato DJ Proの最新の動作環境、互換性、および対応OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/downloads

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC／Macの省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC／Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でSerato DJ Pro を使用してください。

PC／Macの準備

本機にPC／Macの音声を入力する場合は、お使いのPC／Macにあらかじめ下記のソフトウェアをインストールしてください。

ー 専用オーディオドライバーソフトウェア：

専用オーディオドライバーソフトウェアは、本機にPC／Macの音声を入力するためのドライバーソフトウェアです。専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティも同時にインストールされます（16 ページ）。

ー rekordbox（Mac／Windows）USB 接続（LINK Export）ドライバーソフトウェア：

rekordbox（Mac／Windows）と本機を USB 接続（LINK Export）するためのドライバーソフトウェアです。

インストールの方法については、下記のPioneer DJサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- 最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のPioneer DJサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- 1台のPC／Macに、本機を複数台接続した場合の動作は保証しません。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアがインストールされていないPC／Macを本機に接続すると、環境によってはPC／Macにエラーが発生することがあります。
- お使いのPC／Mac上のソフトウェアとの組み合わせによっては、動作に不具合が発生することがあります。

専用オーディオドライバーソフトウェアのインストール

❖ インストールについてのご注意

- インストールする前に、本機の電源をオフにし、本機と PC / Mac を接続している USB ケーブルを取り外してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールする前に、PC / Mac 上のすべてのアプリケーションを終了してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをお使いの PC (Windows) にインストールするには、管理者権限が必要です。
- インストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- インストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- インストールが完了するまでは、本機と PC / Mac を接続しないでください。
- すべての PC / Mac 環境において動作保証するものではありません。

専用オーディオドライバーソフトウェアを入手する

1 下記のサイトにアクセスする

pioneerdj.com/support/

2 [ソフトウェア更新情報] をクリックする

3 [オールインワン DJ システム] カテゴリー内の [XDJ-RX3] をクリックする

4 [Drivers] をクリックする

5 [ダウンロードリンク] をクリックして、ファイルを保存する

- お使いの PC / Mac によって、PC (Windows) または Mac のいずれかの専用オーディオドライバーソフトウェアをダウンロードしてください。
- macOS のバージョンによって、専用オーディオドライバーソフトウェアは異なります。お使いの macOS のバージョン用の専用オーディオドライバーソフトウェアをダウンロードしてください。

専用オーディオドライバソフトウェアをインストールする

1 ダウンロードした専用オーディオドライバソフトウェアを解凍する

- PC (Windows) をお使いの場合は“XDJRX3####exe.zip”を、Mac をお使いの場合は“XDJRX3M####dmg.zip”を解凍してください（#は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。

2 インストールファイルをダブルクリックする

- PC (Windows) をお使いの場合は“XDJ-RX3_#.###.exe”を、Mac をお使いの場合は“XDJ-RX3_M_#.#.#.dmg”→“XDJ-RX3AudioDriver.pkg”をダブルクリックしてください（#は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。

3 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れて [OK] をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しないときは、[同意しない] (Macの場合) / [キャンセル] (Windowsの場合) をクリックして、インストールを中止してください。

4 画面の指示にしたがって、インストールする

- Mac をお使いの場合は、下記のサイトから「macOS にドライバソフトウェアをインストールする際の注意事項」を確認してください。

pioneerdj.com/support/

設定ユーティリティを使う

PC / Macにドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。

- ー バッファーサイズを調整する（Windows ASIO使用時）（18 ページ）
- ー 専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョンを確認する（19 ページ）

設定ユーティリティを表示する

❖ Mac をお使いの場合

- 1 Finderで [アプリケーション] フォルダーを開く
- 2 [Pioneer] → [XDJ-RX3] → [XDJ-RX3 ドライバーバージョン表示ユーティリティ] をクリックする

❖ PC (Windows) をお使いの場合

- 1 スタートメニューから [Pioneer] → [XDJ-RX3 設定ユーティリティ] をクリックする

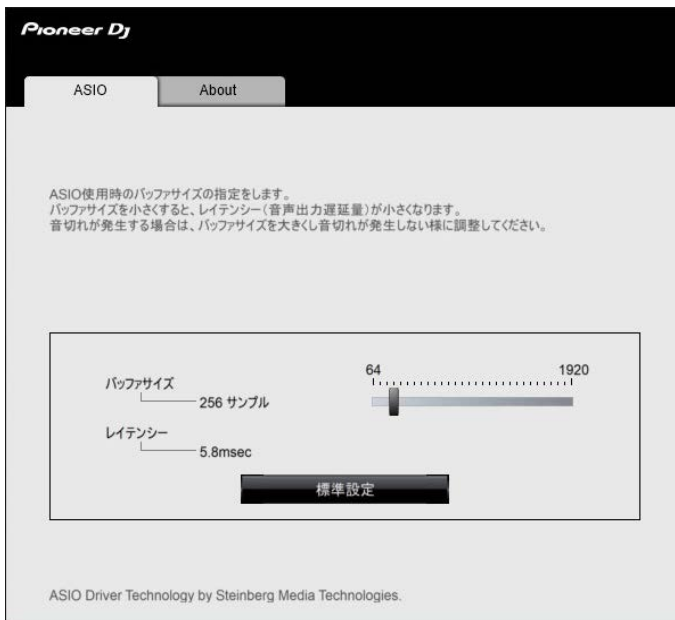
バッファサイズを調整する（Windows ASIO 使用時）

- 本機を既定のオーディオデバイスとして利用しているアプリケーション（DJソフトウェアなど）が起動している場合は、終了してからバッファサイズを調整してください。

🔘 「設定ユーティリティを表示する」（17 ページ）

1 [ASIO] タブをクリックする

2 スライダーでバッファサイズを調整する



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音とぎれ）などは発生しにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。

専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョンを確認する

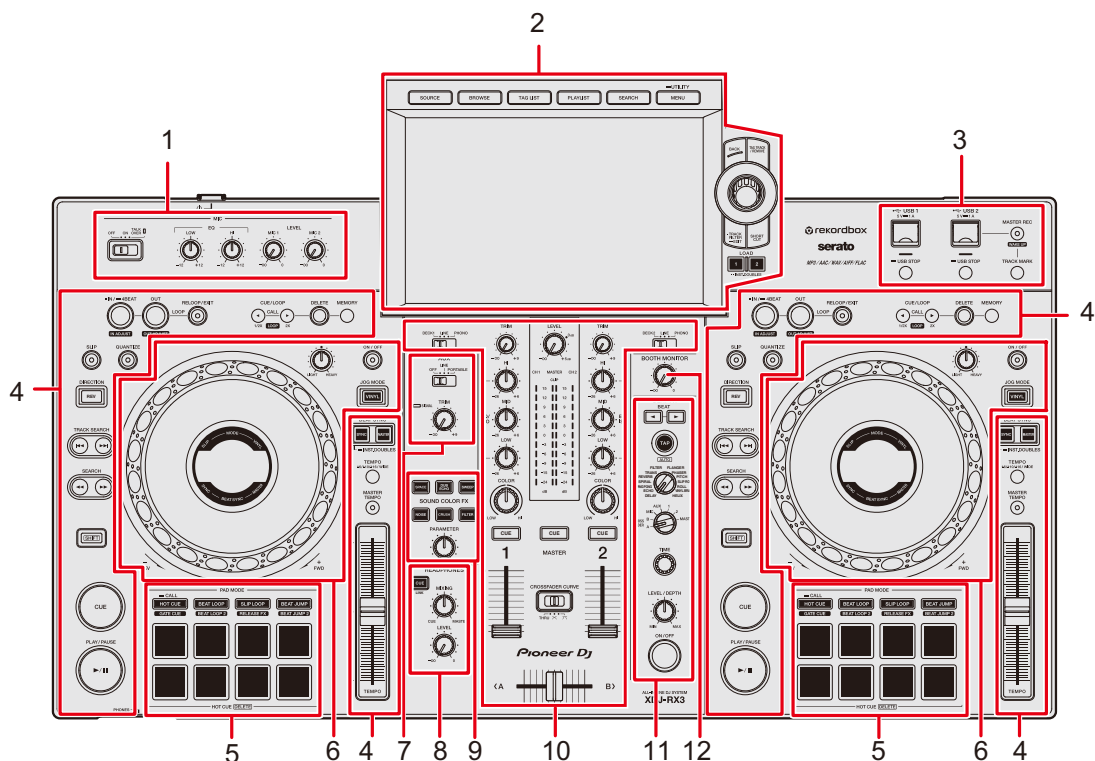
🔗 「設定ユーティリティを表示する」 (17 ページ)

1 [About] タブをクリックする



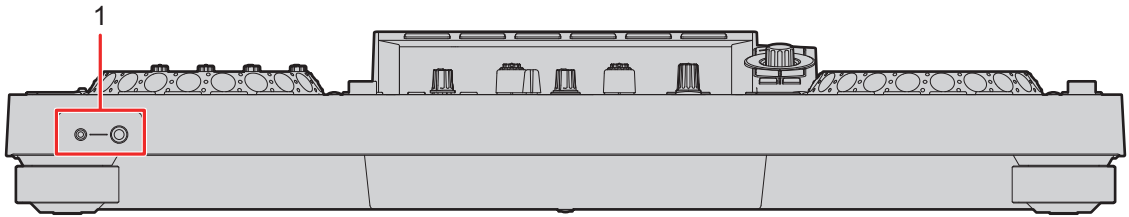
各部の名称

コントロールパネル



1. MICセクション (90 ページ)
2. ブラウズセクション、本体表示部 (23 ページ、36 ページ)
3. USBセクション (34 ページ)
4. デッキセクション (52 ページ)
5. パフォーマンスパッドセクション (74 ページ)
6. ジョグセクション (30 ページ、58 ページ、)
7. AUXセクション (92 ページ)
8. ヘッドホンセクション (88 ページ)
9. SOUND COLOR FXセクション (94 ページ)
10. チャンネルセクション／マスターセクション (83 ページ)
11. BEAT FXセクション (98 ページ)
12. ブースセクション (89 ページ)

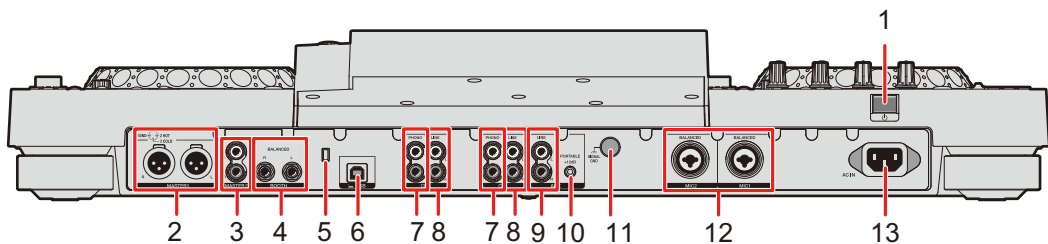
本体フロント部



1. PHONES 端子 (88 ページ)

ヘッドホンはどちらか一方の端子 (1/4" ステレオフォーンジャックまたは 3.5 mm ステレオミニジャック) に接続してください。両方の端子を同時に使用すると、音質が悪くなったり、音量が小さくなったりする場合があります。

本体リア部



1. 電源ボタン

本機の電源のオンとオフを切り替えます。

⚠ 注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

2. MASTER 1 端子 (balanced XLR)

パワーアンプやパワードスピーカーなどのアナログ入力端子と接続します。

- 必ずバランス出力として使用してください。XLR-RCA変換ケーブル(変換アダプター)などを使ってアンバランス入力(RCAなど)へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
- ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。
- アンバランス入力(RCAなど)の接続には、[MASTER 2] 端子を使用してください。

3. MASTER 2 端子 (RCA)

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

4. BOOTH 端子 (1/4" / 6.35 mm、TRS) (89 ページ)

ブースモニター用の出力端子です。

- 必ずバランス出力として使用してください。アンバランス入力へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

5. ケンジントロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着します。

6. USB 端子 (33 ページ)

PC / Mac と接続します。

7. PHONO 端子 (RCA)

フォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器を接続します。

- ラインレベルの信号を入力しないでください。

8. LINE 端子 (RCA)

マルチプレーヤーやラインレベルの出力機器を接続します。

9. AUX LINE 端子 (93 ページ)

ラインレベルの出力機器を接続します。

10. AUX PORTABLE 端子 (93 ページ)

モバイルデバイスなどの出力機器と接続します。

11. SIGNAL GND 端子

ターンテーブルのアース線を接続します。ターンテーブル接続時の雑音を低減します。

12. MIC 1、MIC 2 端子 (XLR または 1/4" / 6.35 mm、TRS) (91 ページ)

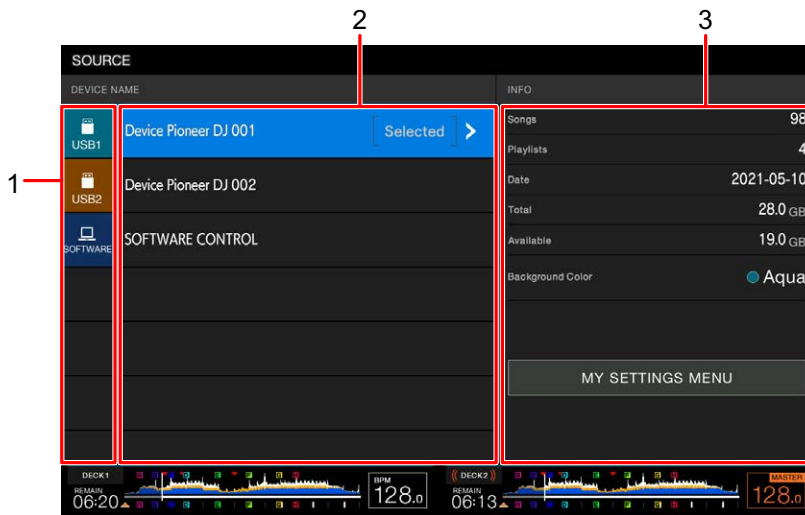
13. AC IN

付属の電源コードで、コンセントと接続します。

本体表示部

SOURCE 画面

[SOURCE] ボタンを押すと、ソース選択画面が表示されます。



1. デバイスアイコン

接続されているデバイスを表示します。

- デバイスに **[BACKGROUND COLOR]** が設定されている場合は、その色で表示します。

2. デバイス名

3. デバイス情報

ハイライトされているデバイスの情報を表示します。

- 記録メディア（USB）が選択されているときは、**[MY SETTINGS MENU]** から以下を設定できます。
 - **[LOAD]**：選択中の記録メディア（USB）に保存したUTILITY設定とその他の設定内容呼び出します。MY SETTINGSの設定内容は、**[SHORTCUT]** 画面から呼び出すこともできます（118 ページ）。
 - **[BACKGROUND COLOR]**：バックグラウンドカラーを設定します（rekordbox からエクスポートされた楽曲ファイルや管理データが入っている記録メディア（USB）対象）。画面表示の一部の色を変更します。
 - **[WAVEFORM COLOR]**：全体波形と拡大波形の色を変更します。

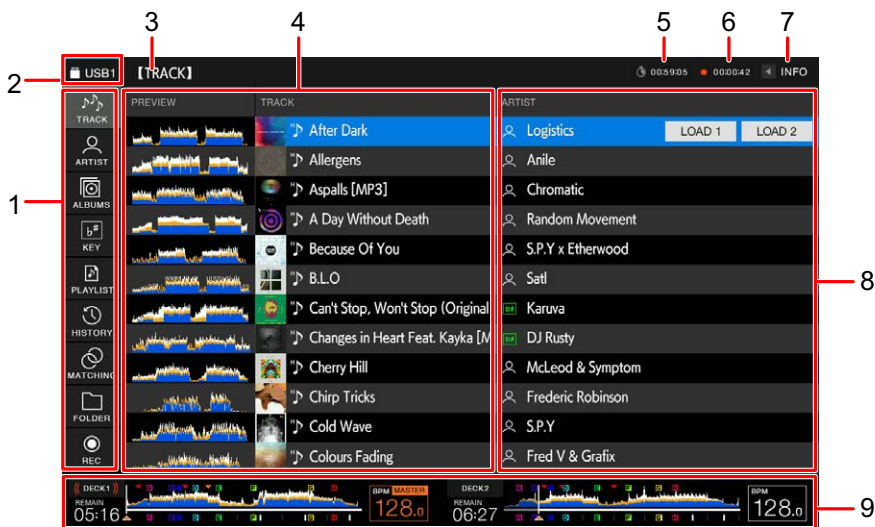
ブラウズ画面

[BROWSE]、[TAG LIST]、[PLAYLIST]、[SEARCH] ボタンを押すと、ブラウズ画面（トラックリスト）が表示されます。

記録メディア（USB）や接続されたコンピューター上のrekordboxのライブラリをブラウズできます。

- BROWSE画面で、rekordboxのライブラリ情報が入っていない記録メディア（USB）をブラウズしたときは、フォルダーとトラックを階層構造でリスト表示します。

[BROWSE] ボタンを押したとき



1. カテゴリー

カテゴリーを表示します。

- カテゴリーの種類は、rekordboxの[環境設定]で設定できます。

2. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます（23 ページ）。

3. 上位階層表示

表示されている項目の上位フォルダーまたはデバイスの名前を表示します。

4. トラックリスト

選択している階層やプレイリスト内のPREVIEW波形、アートワークおよびトラックリストを表示します。

- rekordbox のライブラリ情報が保存されていない場合は、トラック名が左詰めで表示されます。

- **[PREVIEW]** カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます (42 ページ)。

5. カウントダウンタイマー

カウントダウンタイマーを表示します。

タイマーが残り5分以下になると、タイマー表示が白色から赤色に変わります。

6. MASTER REC タイマー

録音 (MASTER REC) を開始すると、録音時間が表示されます (57 ページ)。

7. INFO

タッチすると、カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示／非表示します (41 ページ)。

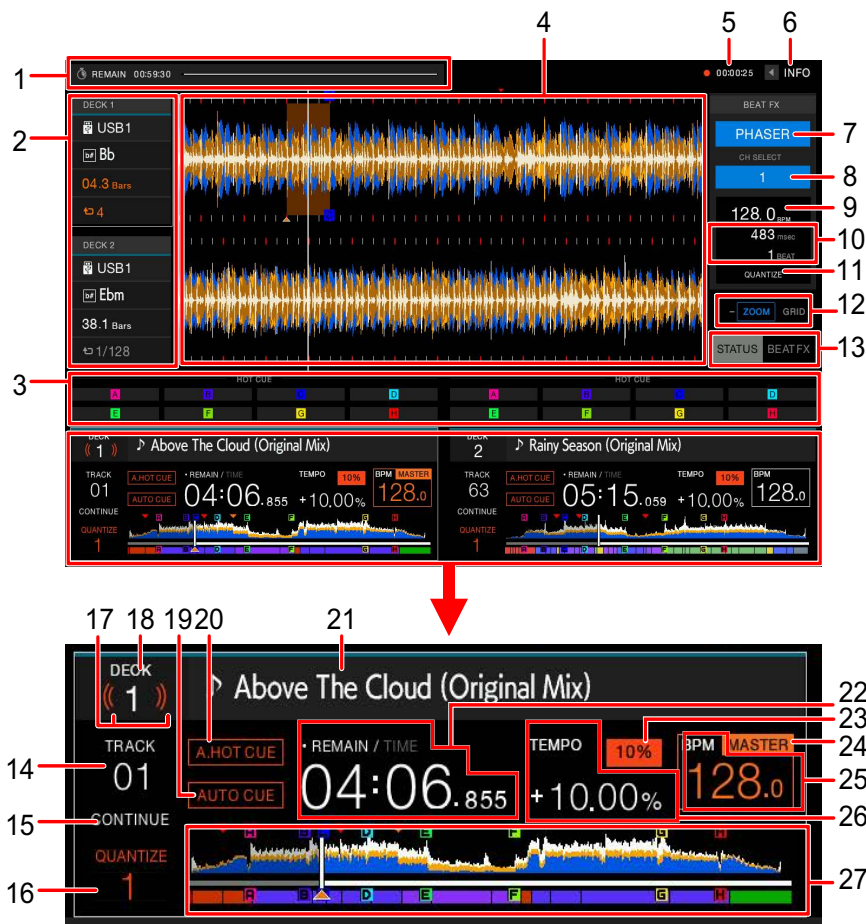
8. ユーザー設定カテゴリー

- rekordbox で、表示するカテゴリーを選択することができます。
- rekordbox のライブラリ情報が保存されていない場合は、カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示します。

9. 再生状態表示

ロード中のトラックの再生状態を表示します。

再生画面（WAVEFORM 画面）



1. カウントダウンタイマー

カウントダウンタイマーを表示します。残り時間が5分以下になると、タイマー表示が白から赤に変わります。

タッチするとタイマー設定画面が表示され、タイマーを開始／停止および、設定を変更することができます。

2. デッキ情報

デッキにロードされているトラックの以下の情報を表示します。

- デバイス（トラックの格納先）
- キー：楽曲のキー（調）を表示します。
- ビートカウントダウン：現在の再生位置に一番近いメモリーキューポイントまでの小節数、拍数を表示します。

- ループアイコン／ループ拍数：ループ再生中にアイコンが点灯し、ループの拍数を表示します。
 - **[DECK 1]**、**[DECK 2]** をタッチして、アクティブデッキを切り替えることができます。
3. **パッドモード状態表示／BEAT FX表示**
デッキで使用中のパッドモードまたはBEAT FX表示（BEAT FX BANKとX-PAD）を表示します。
 4. **拡大波形**
rekordboxで解析した拡大波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。
 - **[SOURCE]** 画面の **[MY SETTINGS MENU]**、または **[SHORTCUT]** 画面の **[WAVEFORM COLOR]** で波形の色を変更できます（116 ページ）。
 5. **MASTER REC タイマー**
MASTER RECを開始すると録音時間が表示されます（57 ページ）。
 6. **INFO**
タッチすると、デッキにロードされているトラックの詳細情報を表示／非表示します（41 ページ）。
 7. **BEAT FX**
選択されているBEAT FX（エフェクト名）を表示します（99 ページ）。
 8. **チャンネル表示**
BEAT FXチャンネル切替えスイッチで選択されているチャンネル（エフェクトを加えるチャンネル）が表示されます。
 9. **BPM（BEAT FX用）**
BPM（Beats Per Minute。1分間の拍数）を表示します。
 - オートモードのときは自動で検出したBPMを表示します。
 - 手動入力モードのときはBPMが緑色で表示され、**[TAP]** が表示されます。
 10. **パラメーター表示**
エフェクトに設定されているパラメーター（msec、BEAT）を表示します。
 11. **QUANTIZE 表示（BEAT FX用）**
BEAT FXのクオンタイズ機能がオンで有効のときは白色で、オンで無効のときはグレーで表示されます（101 ページ）。
 12. **ZOOM／GRID ADJUST モード表示**
ロータリーセクターを長押し、または画面の **[ZOOM]** ／ **[GRID]** を長めにタッチすると、ZOOMモードとGRID ADJUSTモードを切り替えることができます。
 - ロータリーセクターを回すと、以下の操作が可能です。

- ZOOM モード：DECK 1、2の拡大波形を同時に拡大／縮小します。
- GRID ADJUSTモード：アクティブデッキにロードされているトラックのビートグリッドを調整します（73 ページ）。

13. STATUS／BEAT FX表示

[STATUS] ／ [BEAT FX] をタッチして、デッキのパッドモード状態表示とBEAT FX表示を切り替えます。

- BEAT FX表示では、BEAT FX をBEAT FX BANKに登録したり、X-PAD を使用できます（99 ページ）。

14. トラック番号

ロードされているトラックの番号（01～999）を表示します。

15. PLAY MODE表示

ロードされているトラックの再生方法を表示します。

- トラックの再生方法は、UTILITY設定の [PLAY MODE] で設定します（111 ページ）。

16. QUANTIZE表示（デッキ用）、クオンタイズ拍数

クオンタイズ機能がオンで有効のときは赤色で、オンで無効のときはグレーで表示されます（68 ページ）。

- クオンタイズに設定されている拍数は、UTILITY設定または [SHORTCUT] 画面の [QUANTIZE BEAT VALUE] で設定します（110 ページ、116 ページ）。

17. オンエア表示

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から音声出力が可能なときに表示されます。

18. デッキ番号

19. AUTO CUE表示（63 ページ）

オートキューがオンのときに表示されます。

20. A. HOT CUE表示

[HOT CUE AUTO LOAD] がオンのときに表示されます（77 ページ）。

21. トラック名

ロードされているトラックの名称を表示します。

22. 時間表示（分、秒、msec）

残り時間または経過時間を表示します。

時間表示をタッチして、残り時間または経過時間表示を切り替えます。

長押しすると、オートキューのオン／オフを切り替えます。

- 残り時間表示のときは [REMAIN/TIME] の [TIME] 表示がグレーで、経過時間表示のときは [REMAIN/TIME] の [REMAIN] 表示がグレーで表示されます。
- 残り時間または経過時間表示、オートキューのオン／オフは [SHORTCUT] 画面の [TIME] や [AUTO CUE] で切り替えることもできます（116 ページ）。

23. 再生速度可変範囲表示

元の再生速度に対して、調整できる範囲を表示します（55 ページ）。

24. MASTER表示

デッキがマスターデッキのときに表示されます。

25. BPM（デッキ用）

再生しているトラックの BPM（Beats Per Minute。1 分間の拍数）を表示します。

- 測定値が当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。測定方法などが異なるためであり、故障ではありません。

26. 再生速度

[TEMPO] スライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

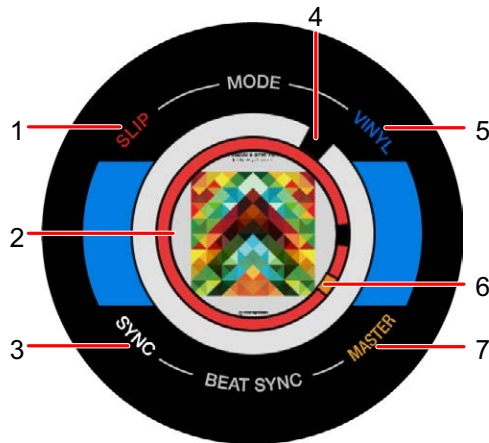
27. 全体波形

rekordbox で解析した全体波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

波形上の触れた位置から再生を開始できます（54 ページ）。

- 各表示は以下を示します。
 - ー プレーイングアドレス：トラック（1 曲）を棒グラフ（横のライン）で示します。現在の再生位置は、白色の縦線で示します。時間表示が [TIME] のときは、グラフの左側から点灯して経過時間を示します。[REMAIN] のときは、左側から消灯して残り時間を示します。残り時間が 30 秒以下になるとグラフが点滅し、15 秒以下になると早く点滅します。
 - ー 目盛表示（30 秒間隔）／ PHRASE METER：プレーイングアドレスの下に 30 秒間隔のメモリまたは PHRASE METER を表示します。UTILITY 設定の [WAVEFORM DIVISIONS] で表示内容を設定します（111 ページ）。
 - ー メモリーキューポイント／メモリーループポイント／メモリーホットキューポイント：波形表示の上部に、楽曲に記録されているキューポイント、ループポイント、ホットキューポイントをマークで表示します。
 - ー キューポイント／ループポイント／ホットキューポイント：波形表示の下部に、楽曲に設定されているキューポイント、ループポイント、ホットキューポイントをマークで表示します。
- [WAVEFORM COLOR] で波形の色を変更できます（116 ページ）。
- キューポイントとホットキューポイントは、rekordbox で色を設定できます。

ジョグ表示部



1. SLIP 表示

スリップモードがオンのときに点灯します。

2. アートワーク／ループ拍数表示／ビートジャンプ拍数表示

アートワークを表示します。

ループ実行中は、ループの拍数を表示します。

ビートジャンプ実行時は、ジャンプ方向と拍数を1秒間表示します。

- 表示するアートワークはUTILITY設定の [IMAGE ON JOG DISPLAY] で設定できます (112 ページ)。

3. SYNC 表示

ビートシンクがオンのときに点灯します。

4. 再生位置表示

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

5. VINYL 表示

VINYL モードがオンのときに点灯します。

6. キュー／ループ／ホットキューポイント表示

設定されているキューポイント、ループポイント、ホットキューポイントの位置を示します。

7. MASTER 表示

デッキがマスターデッキのときに点灯します。

画面の基本操作

本体表示部の画面は、ロータリーセレクトアを使って、または画面をタッチして操作します。

❖ ロータリーセレクトアを使う

1 回してカーソルを移動させ、選択したい項目をハイライトする

2 押して、選択を決定する

- 階層がハイライトされているときに押すと、下の階層を表示します。
- メニューなどが表示されているときは、選択中の項目を決定します。

❖ タッチで操作する

1 タッチして、選択したい項目を決定する

- 階層をタッチすると、下の階層を表示します。
- トラックをタッチすると **[LOAD]** が表示されます。**[LOAD]** をタッチすると、トラックをロードし、WAVEFORM画面を表示します。

❖ 階層に戻る

1 コントロールパネル上の **[BACK]** ボタンを押す

1つ上の階層（前の画面）を表示します。

- **[BACK]** ボタンを長押しすると、一番上の階層をハイライトします。

接続（基本スタイル）

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

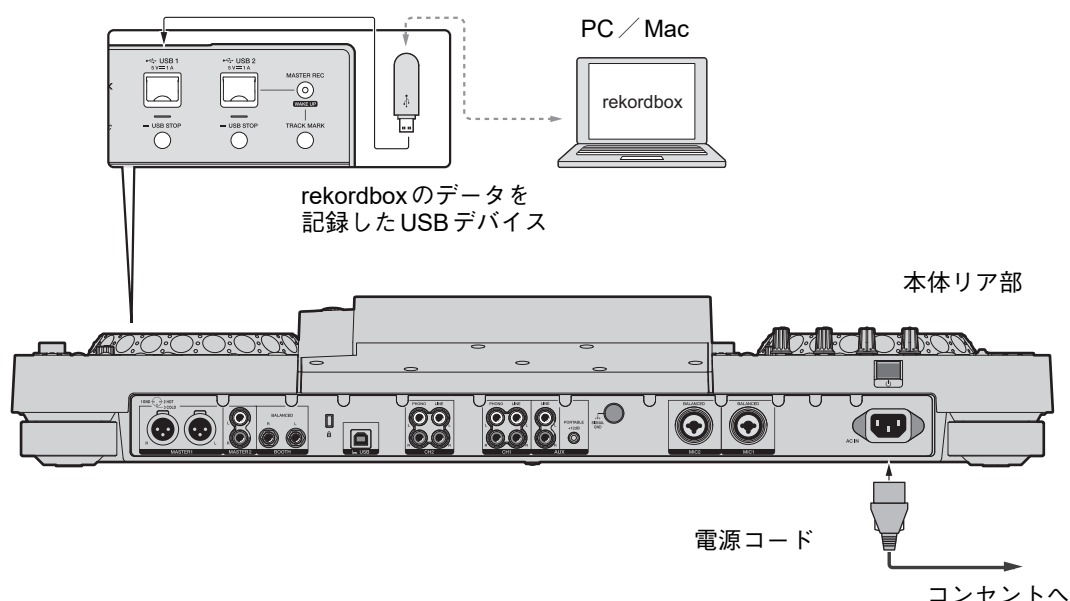
電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

- 付属の電源コードを使用してください。
- 本機とPC／Macは、性能維持のため必ず付属のUSBケーブルで直接接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。

PRO DJ LINK 接続

USB Export

USBデバイス（フラッシュメモリー、ハードディスクなど）を使って、rekordboxの楽曲ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。



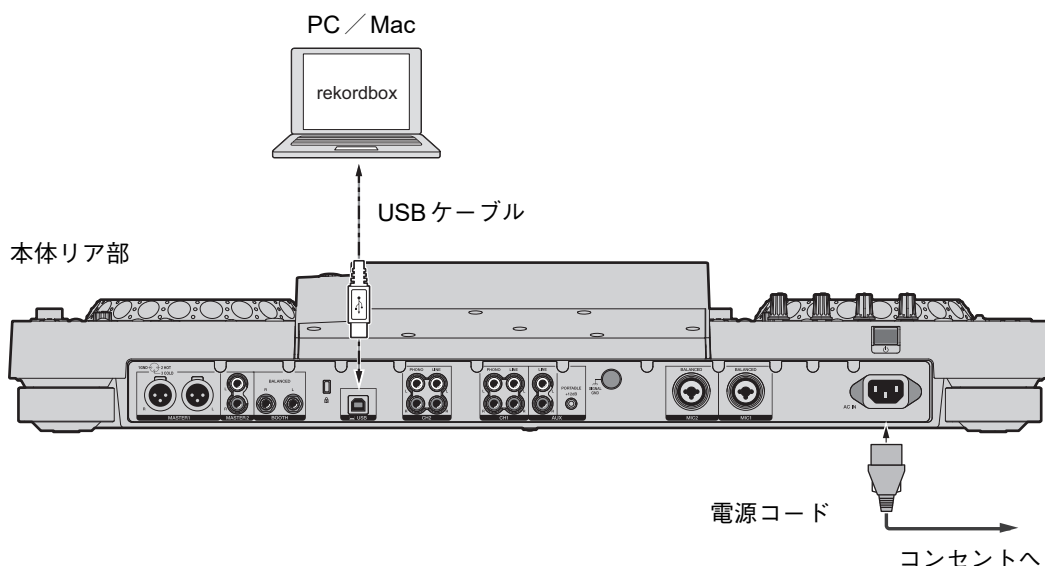
rekordbox LINK Export

rekordboxがインストールされているPC／Macと本機をUSBケーブルを使って接続すると、rekordbox内のトラックを選曲し、再生できます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- PC／MacをUSBケーブルで接続して使用するには、あらかじめrekordbox (Mac／Windows) USB 接続（LINK Export）ドライバーソフトウェアをインストールしてください（14 ページ）。
- rekordbox for iOS との接続については、下記のサイトからFAQを参照してください。

rekordbox.com/support/faq/connecting-to-dj-units/

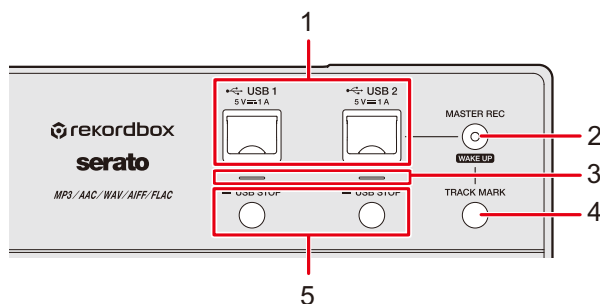
- rekordbox for Android は本機と接続することはできません。



- USB ケーブルは、まっすぐ挿入、または引き抜いてください。上下左右方向に力を加えないでください。

メディアの挿入と取り外し

USB セクション



1. **USB 1、USB 2 デバイス挿入口**
2. **MASTER REC (WAKE UP) ボタン** (57 ページ)
3. **USB 1、USB 2 インジケータ**
USB デバイスと通信しているときに点滅します。
4. **TRACK MARK ボタン** (57 ページ)
5. **USB 1、USB 2 STOP ボタン**

USB デバイス

- USB インジケータ点滅中は、USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。本機の管理データが消去されたり、USB デバイスを読み込めなくなることがあります。
- USB 端子カバーを強く押したり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。

USB デバイスを接続する

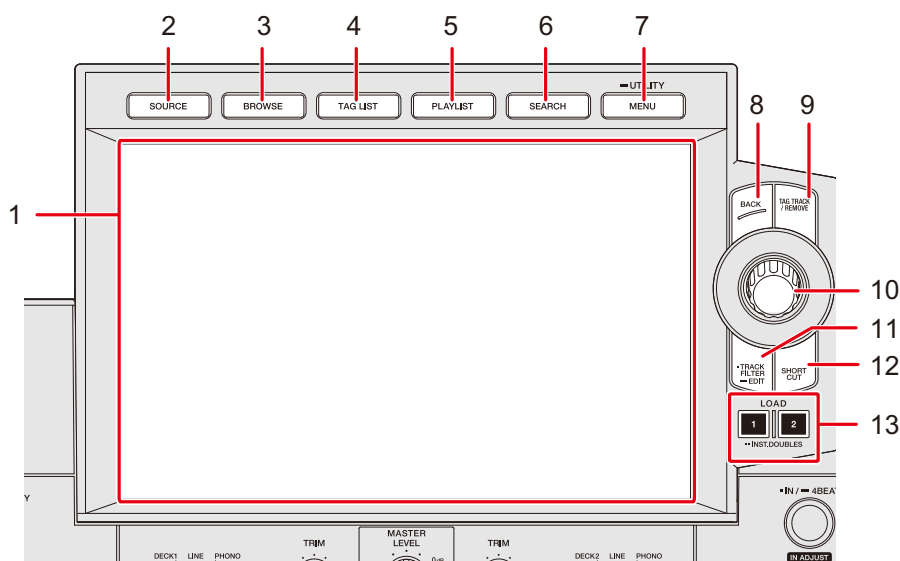
- 1 USB 端子カバーを開く
- 2 USB デバイスを止まるまでゆっくりと垂直に差し込む

USB デバイスを取り外す

- 1 USB インジケータの点滅が止まるまで、[USB STOP] ボタンを長押しする
- 2 USB デバイスを垂直に引き抜く
- 3 USB 端子カバーを閉じる

選曲

ブラウズセクション



1. **本体表示部**（23 ページ）
2. **SOURCE ボタン**
SOURCE 画面を表示します。
3. **BROWSE ボタン**
BROWSE 画面を表示します。
4. **TAG LIST ボタン**
TAG LIST 画面を表示します。
5. **PLAYLIST ボタン**
PLAYLIST 画面を表示します。
6. **SEARCH ボタン**
SEARCH 画面を表示します。
7. **MENU / UTILITY ボタン**
各画面（使用中の機能）のメニュー項目やUTILITY設定（109 ページ）を表示します。
8. **BACK ボタン**（31 ページ）
9. **TAG TRACK/REMOVE ボタン**
タグリストへトラックを追加または削除します（45 ページ）。

10. ローターセレクター

11. TRACK FILTER / EDIT ボタン

rekordboxでトラックに付加したタグ情報や BPM、キーなどの情報を使ってトラックを絞り込みます (40 ページ)。

12. SHORTCUT ボタン (115 ページ)

13. LOAD 1、LOAD 2 ボタン

ソースを選択する

1 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面に、本機に接続されているデバイスが表示されます。

🔍 「SOURCE画面」 (23 ページ)

2 デバイスを選択する

トラックを選択する

ブラウザ画面からトラックを選択する

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

🔍 「ブラウザ画面」 (24 ページ)

2 トラックを選択する

🔍 「トラックをロードする」 (42 ページ)

トラックを並べ替える

rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

1 トラックリスト表示で、[MENU / UTILITY] ボタンを押す

ソートメニューが表示されます。

2 ソート項目を選択する

- ソートメニューに表示するソート項目は、rekordbox で変更できます。記録デバイス (USB) 上の rekordbox ライブラリは、設定を変更したあとに再度エクスポートすると反映されます。
- 以下のソート項目は、常にソートメニューに表示されます。
 - [BPM (UNSORTED)] : デフォルトの並び順のまま、ユーザー設定カテゴリーに BPM-KEY を表示します。

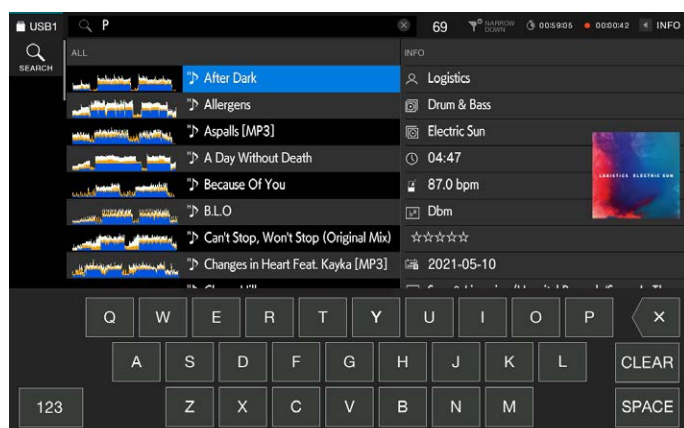
トラックを探す

SEARCH 機能を使って探す

SEARCH 機能は、rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

1 [SEARCH] ボタンを押す

SEARCH 画面が表示されます。



2 キーボードを使ってキーワードを入力する

入力したキーワードを含むトラック名などが表示されます。

- スペースで区切って、複数のキーワードを指定できます。
- 検索方法は、MENU から以下を選択できます。
 - － **[AND]**：入力した文字列を含むトラック名などを表示します。
 - － **[NARROW DOWN]**：絞り込み検索結果をトラック名で表示します。

ジャンプ機能を使って検索する

ジャンプ機能には、2 つのモードがあります。

❖ アルファベットジャンプ

1 アルファベット順表示のリストで、ロータリーセクターを長押しする

アルファベットジャンプモードに切り替わり、ハイライトされているトラックまたはカテゴリーの頭文字が表示されます。

- アルファベットジャンプで表示される文字は A ～ Z、0 ～ 9、および一部の記号です。

2 ロータリーセクターを回して、表示をスクロールする

表示されている文字が頭文字のトラックまたはカテゴリーにカーソルが移動します。

- 表示されている文字から始まるトラックまたはカテゴリーがない場合は、カーソルは移動しません。

❖ ページジャンプ

1 アルファベット順表示以外のリストで、ロータリーセクターを長押しする

ページジャンプモードに切り替わります。

2 ロータリーセクターを回して、ページをスクロールする

各ページのリストの最初のトラックにカーソルが移動します。

TRACK FILTER を使って探す

rekordboxでトラックに付加したタグ情報（マイタグ）や BPM、キーなどの情報を使ってトラックを絞り込みます。TRACK FILTER機能は、rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

❖ トラックを絞り込む

1 [TRACK FILTER / EDIT] ボタンを押す

現在指定されている条件でトラックが絞り込まれます。

❖ トラックフィルター編集画面で条件を指定する

1 [TRACK FILTER / EDIT] ボタンを長押しする

トラックフィルター編集画面が表示されます。

2 条件を指定します。

- トラックフィルター条件には、トラックに付加したタグ情報（マイタグ）、BPM、KEY、RATING、COLORを設定することができます。
- チェックボックスにチェックマークを付けると、フィルター条件が有効になります。
- [MASTER DECK] をタッチすると、マスターデッキに設定されているデッキで再生しているトラックのBPMとキーを取り込みます。
- rekordboxでトラックフィルター条件を設定することもできます。
- 条件設定は、記録メディア（USB）ごとにそれぞれ記憶されます。

再生中の曲のキー（調）を使って探す

表示されているカテゴリーがKEYのとき、マスターデッキにロードされているトラックのキーと相性が良い楽曲のKEYアイコンが緑色に変わります。

- マスターデッキが設定されていない場合は、この機能は利用できません。

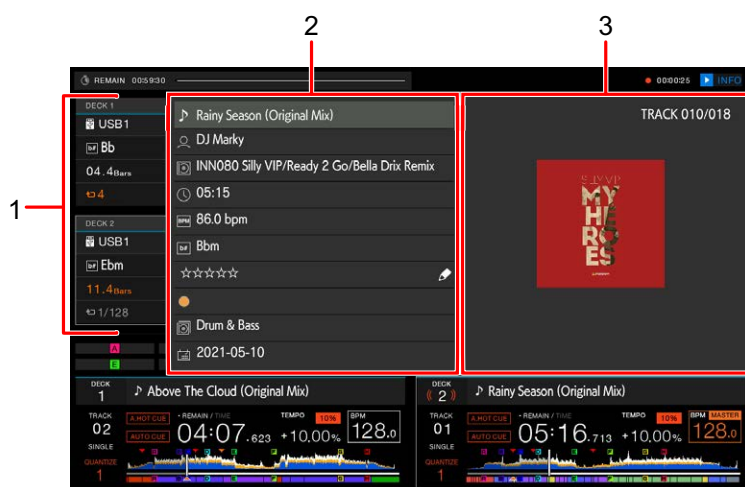
INFORMATION ジャンプ機能を使って探す

詳細表示中のトラックと同じジャンルや近いBPM値のトラックを探することができます。

1 WAVEFORM画面で、[INFO] をタッチする

INFORMATION画面が表示されます。

🔄 「再生画面（WAVEFORM画面）」（26 ページ）



1. デッキ情報：[DECK 1]、[DECK 2] をタッチしてデッキを切り替えて、各デッキにロードされているトラックの情報を表示します。
2. トラック詳細情報
 - ☆☆☆を選択してロータリーセクターを長押し、ロータリーセクターを回すと、曲のレーティングを変更することができます。
3. ジャケット写真／コメント

2 トラック詳細情報から、項目を選択する

BROWSE画面に、選択したカテゴリーに含まれるトラックが表示されます。

- 以下のときは、項目が選択できないことがあります。
 - ー 表示するカテゴリーがない。
 - ー 詳細画面にアイコンだけが表示されている。
- トラックを選択すると、ロードする前に表示したブラウズ画面を表示します。
- 記録メディア（USB）にrekordboxライブラリが保存されていない場合は、トラックのみ選択できます。

ロードする前に音声を確認する (TOUCH PREVIEW)

トラックをロードする前に、音声をモニターできます。

1 ヘッドホンを接続する

☞ 「本体フロント部」 (21 ページ)

2 [CUE (LINK)] ボタンを押す

☞ 「ヘッドホンセクション」 (88 ページ)

3 ブラウズ画面で、波形をタッチする

タッチした位置から再生が開始され、ヘッドホンで音声をモニターできます。

- 再生中の音声を出力しながら、波形をタッチしている間、音声をモニターできます。
- デッキへロードできないトラックや PREVIEW 波形が表示されないトラックはモニターできません。

☞ 「ブラウズ画面」 (24 ページ)

トラックをロードする

1 トラックリストで、トラックを選択する

☞ 「トラックを選択する」 (37 ページ)

2 [LOAD 1] または [LOAD 2] ボタンを押す

ボタンを押したデッキ (DECK 1 または DECK 2) にトラックがロードされます。

- UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [LOAD LOCK] が [LOCK] に設定されているときは、再生中にほかのトラックをロードできません (110 ページ、116 ページ)。[UNLOCK] に設定するか、[PLAY/PAUSE ►/||] ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
- オートキューがオンのときは、音声開始位置で一時停止状態になります。[PLAY/PAUSE ►/||] ボタンを押すと再生を開始します。

トラックメニューを使ってロードする

BROWSE、PLAYLIST、SEARCH、TAG LIST 画面でトラックを選択しているとき、またはメモリーキュー／ループのコメントを選択しているときにロータリーセクターを押すと、トラックメニューが表示されます。

トラックメニューからトラックをロードすることもできます。

トラックメニュー	BROWSE、 PLAYLIST、 SEARCH 画面	TAG LIST 画面	メモリーキュー／ループのコメント選択時
CANCEL	トラックメニューを閉じます。		
LOAD TO DECK 1	DECK 1 にトラックをロードし、再生を開始します。		DECK 1 に、選択したポイント呼び出します。
LOAD TO DECK 2	DECK 2 にトラックをロードし、再生を開始します。		DECK 2 に、選択したポイント呼び出します。
CUE/LOOP LIST	rekordbox で設定したメモリーキューのコメントリストを表示します。	-	-

HISTORY を使う

約 1 分間再生したトラックは、HISTORY（演奏履歴リスト）に記録されます（999 件まで）。

- 本機に記録メディア（USB）を接続すると、記録メディア（USB）内に自動で新しい HISTORY が作成されます。
- 同一のトラックを 2 回以上連続して再生した場合は、HISTORY に記録されないことがあります。
- HISTORY に記録されたトラックは、トラック名などが緑色（再生済み）で表示されます。
- rekordbox を使って HISTORY を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox（Mac/Windows）のユーザーマニュアルを参照してください（8 ページ）。

HISTORY を参照する

1 [BROWSE] ボタンを押す

BROWSE 画面が表示されます。

🔍 「ブラウズ画面」（24 ページ）

2 カテゴリーで [HISTORY] を選択する

HISTORY リストが表示されます。

HISTORY を削除する

1 HISTORY リストで、削除したい HISTORY を選択して [MENU / UTILITY] ボタンを押す

削除メニューが表示されます。

2 [DELETE] または [ALL DELETE] を選択する

- [DELETE]：選択している HISTORY が削除されます。
- [ALL DELETE]：すべての HISTORY が削除されます。

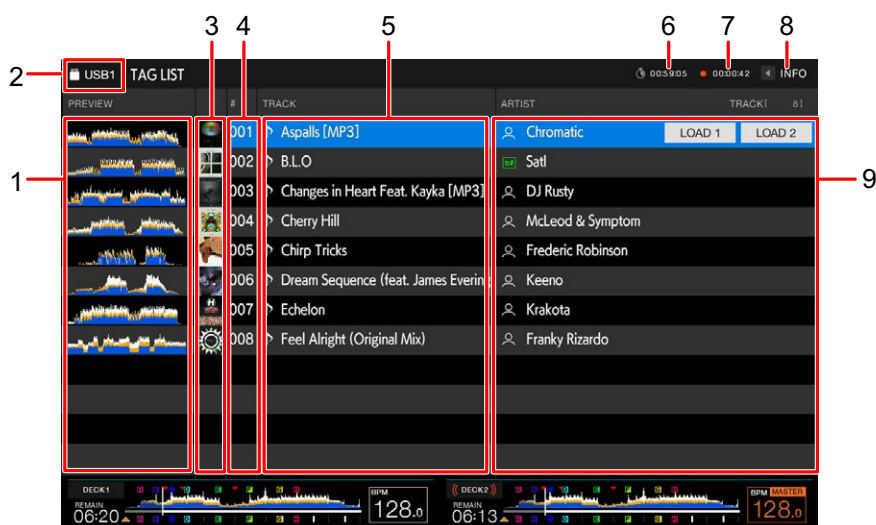
- rekordbox で HISTORY をプレイリストとして取り込むと、取り込まれた HISTORY は記録デバイス（USB）から削除されます。

タグリストを使う

次に再生するトラックやDJシーンに合わせて選んだトラックを、「タグリスト」に登録しておくことができます。

- タグリストは、各記録メディア（USB）に1つ作成されます。記録メディア（USB）をまたいでトラックをリストに登録することはできません。
- タグリストには、1 記録メディア（USB）当たり100トラックまで登録できます。
- 同一フォルダー内の同一トラックを重複して登録することはできません。

タグリスト画面



1. PREVIEW 波形

PREVIEW 波形を表示します。PREVIEW 波形が表示されているときは、TOUCH PREVIEW を使用することができます（42 ページ）。

2. デバイスアイコン

「[SOURCE]」画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます。
rekordbox で背景色を設定できます。

3. ジャケット写真

rekordbox で登録したアートワークを表示します。

4. 連番

5. タグリスト

タグリストの内容を表示します。

6. カウントダウンタイマー

カウントダウンタイマーを表示します。

タイマーが残り5分以下になると、タイマー表示が白色から赤色に変わります。

7. MASTER REC タイマー

MASTER RECを開始すると録音時間が表示されます（57 ページ）。

8. INFO

タッチすると、カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示／非表示します。

9. ユーザー設定カテゴリー

rekordboxで、表示するカテゴリーを設定することができます。

rekordboxライブラリがない場合は、カーソルで選択しているトラックの詳細情報が表示されます。

ロータリーセクターを回すと、カーソルが上下に移動します。

タグリストにトラックを追加する

1 トラックをハイライトする

- フォルダーやプレイリストを選択して、直下に含まれるトラックを一括でタグリストに追加することもできます。

2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

タグリストに追加されたトラックにはチェックマークが表示されます。

- WAVEFORM画面またはINFORMATION画面で [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押して、デッキにロード中のトラックをタグリストに追加することもできます。ロード中に追加されたトラックには“♪s”が表示されます。
タグリストから“♪s”が表示されているトラックをロードすると、追加時の状態でロードされます。追加時に設定されていたキューポイントやループポイントも合わせてロードします。
- フォルダーで追加する場合に、ID3などを一度も読み込んでいないトラックは、ファイル名がトラック名として登録されます。アーティスト名は登録されません。
タグリストに追加したトラックをブラウザ画面に表示する、またはロードしてID3などを読み込むと、ファイル名はトラック名に変わりアーティスト名も登録されます。

タグリストからトラックを削除する

❖ 個別に削除する（TAG LIST 画面）

- 1 トラックをハイライトする
- 2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを長押しする

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 個別に削除する（BROWSE、PLAYLIST、SEARCH 画面）

- 1 トラックをハイライトする
- 2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 個別に削除する（WAVEFORM 画面／INFORMATION 画面）

- 1 タグリストに登録されているトラックがロードされているときに、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 一括で削除する

- 1 [TAG LIST] ボタンを押す
- 2 [MENU／UTILITY] ボタンを押す

TAG LIST 画面が表示されます。

[LIST MENU] が表示されます。

- 3 [TAGLIST MENU] の [REMOVE ALL TRACKS] を選択する

タグリストからすべてのトラックが削除されます。

- 再生中のトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次のトラックは再生しません。

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストから変換したプレイリストは、[PLAYLIST] カテゴリー内にリスト表示されます。

- 記録メディア（USB）内に rekordbox のライブラリ情報が保存されていない場合は、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに、rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックが登録されている場合は、rekordbox で管理されているトラックのみプレイリストに変換されます。

1 [TAG LIST] ボタンを押す

TAG LIST画面が表示されます。

2 [MENU / UTILITY] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

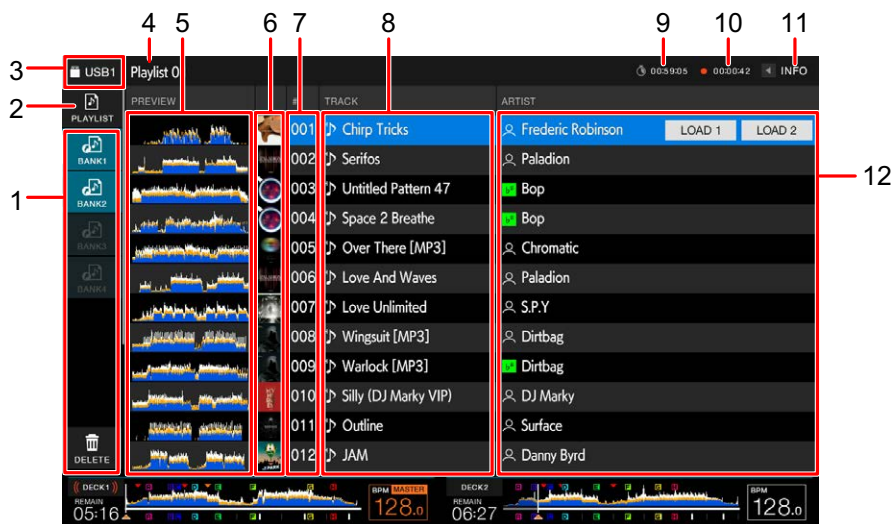
3 [TAGLIST MENU] の [CREATE PLAYLIST] を選択する

[TAG LIST XXX] という名前のプレイリストに変換されます。

プレイリスト画面を表示する

プレイリスト画面

[PLAYLIST] ボタンを押すと [PLAYLIST] の内容がリスト表示されます。ブラウズ画面からも [PLAYLIST] の内容を表示することができます (24 ページ)。



1. PLAYLIST BANK

プレイリストバンクにプレイリストを登録しておく、階層移動することなくプレイリストを表示することができます (51 ページ)。

2. カテゴリー

[PLAYLIST] カテゴリーを表示します。

3. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます。
rekordbox で背景色を設定できます。

4. 上位階層表示

5. PREVIEW 波形

PREVIEW 波形を表示します。PREVIEW 波形が表示されているときは、TOUCH PREVIEW を使用することができます (42 ページ)。

6. ジャケット写真

rekordbox で登録したアートワークを表示します。

7. 連番

8. トラックリスト

プレイリストやプレイリスト内のトラックリストを表示します。

9. カウントダウンタイマー

カウントダウンタイマーを表示します。

タイマーが残り5分以下になると、タイマー表示が白色から赤色に変わります。

10. MASTER REC タイマー

MASTER RECを開始すると録音時間が表示されます（57 ページ）。

11. INFO

タッチすると、カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示／非表示します。

12. ユーザー設定カテゴリ

rekordboxで表示するカテゴリを選択することができます。

ロータリーセクターを回すと、カーソルが上下に移動します。

❖ プレイリスト内のトラックを再生済みまたは未再生に変更する

1 プレイリスト内のトラックを選択しているときに、[MENU / UTILITY] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

2 [PLAYED] または [UNPLAYED] を選択する

- **[PLAYED]**：未再生のトラックを再生済みに設定します。再生済みに変更したトラックは、文字が緑色に変更され、HISTORY（演奏履歴リスト）に登録されます。再生済みのトラックを選択しているときは、**[PLAYED]** は選択できません。
- **[UNPLAYED]**：再生済みのトラックを未再生に設定します。未再生に変更したトラックは、文字が白色に変更され、HISTORY（演奏履歴リスト）から削除されます。未再生のトラックを選択しているときは、**[UNPLAYED]** は選択できません。

❖ プレイリストを削除する

1 PLAYLIST画面で、[MENU / UTILITY] ボタンを押す

削除メニューが表示されます。

2 [DELETE] または [ALL DELETE] を選択する

- [DELETE]：選択しているプレイリストが削除されます。
- [ALL DELETE]：すべてのプレイリストが削除されます。

プレイリストバンクにプレイリストを追加する

1 PLAYLIST画面で、プレイリストをハイライトする

2 グレーアウト表示されているプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストが登録されると、プレイリストバンクのアイコンが白色に変わります。

- 同一のプレイリストを複数のプレイリストバンクに登録することはできません。
- 白色アイコンのプレイリストバンクを選択すると、登録したプレイリストのトラックリストが表示されます。

プレイリストバンクからプレイリストの登録を解除する

1 [DELETE] を選択する

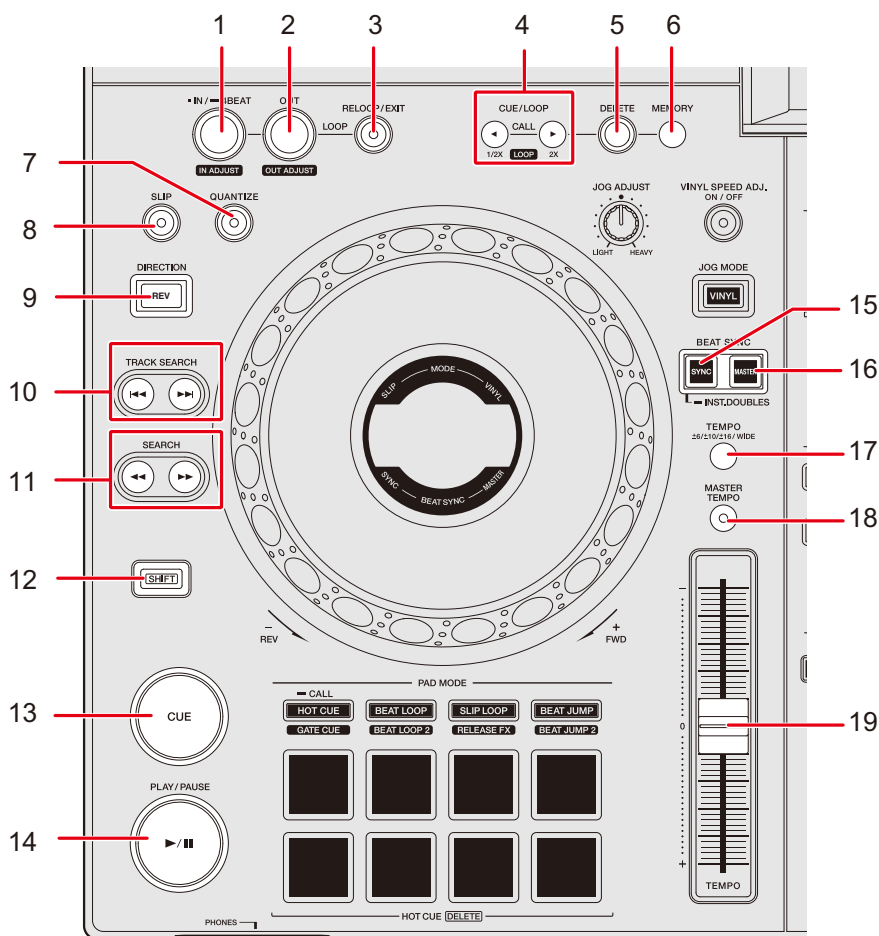
登録解除モードになり、プレイリストバンクアイコンに×が表示されます。

2 登録を解除するプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストの登録が解除され、登録解除モードがオフになります。

再生

デッキセクション



1. **LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST) ボタン** (61 ページ、64 ページ)
2. **LOOP OUT (OUT ADJUST) ボタン** (64 ページ)
3. **RELOOP/EXIT ボタン** (66 ページ、79 ページ)
4. **CUE/LOOP CALL ◀ (LOOP 1/2X) , ▶ (LOOP 2X) ボタン** (62 ページ、65 ページ、67 ページ)
5. **DELETE ボタン** (63 ページ、67 ページ)
6. **MEMORY ボタン** (62 ページ、67 ページ)
7. **QUANTIZE ボタン** (68 ページ)
8. **SLIP ボタン** (69 ページ)

9. **DIRECTION (REV) ボタン**
逆再生、またはスリップリバース (69 ページ) をしているときに点灯します。
10. **TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン**
トラックを頭出しします。
11. **SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン**
トラックを早送り／早戻しします。
12. **SHIFT ボタン**
13. **CUE ボタン** (61 ページ)
14. **PLAY/PAUSE ▶/II ボタン**
トラックを再生／一時停止します。
15. **BEAT SYNC / INST.DOUBLES ボタン** (71 ページ、72 ページ)
16. **MASTER ボタン** (71 ページ)
17. **TEMPO ±6/±10/±16/WIDE ボタン**
[TEMPO] スライダーの可変範囲を切り替えます。
18. **MASTER TEMPO ボタン**
マスターテンポをオン／オフします。
19. **TEMPO スライダー** (55 ページ)

再生／一時停止する

1 [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す

一時停止中：再生を開始します。

再生中：一時停止します。

- UTILITY 設定の [PLAY MODE] が [SINGLE] または [REPEAT] に設定されているときは、次のトラックは再生されません (111 ページ)。
- VINYL モードで一時停止すると無音になります。通常モードで一時停止すると音声が続切れ途切れに出力されます (59 ページ)。

全体波形上の触れた位置から再生する

1 全体波形をタッチする

触れた位置から再生を開始します。

- UTILITY 設定の **[NEEDLE LOCK]** が **[LOCK]** に設定されているときは、一時停止中、または VINYL モードでジョグの天面にタッチしているときに全体波形をタッチすると、触れた場所から再生を開始します（110 ページ）。
- 全体波形に触れたまま指を移動させると、目的の位置まですばやく移動できます。

逆再生する

1 **[DIRECTION (REV)]** ボタンを押す

逆再生を開始すると、ボタンが点灯します。

- ジョグの回転方向に応じた音の加速、減速も逆になります。
- トラックをまたいだ逆再生はできません。
- 逆再生中に、頭出し（トラックサーチ）やループ再生などの操作を行うと、スクラッチできないことがあります。

再生中の基本操作

機能	説明
早送り／早戻し	[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押し続けている間、早送り／早戻しします。 UTILITY 設定の [PLAY MODE] が [SINGLE] または [REPEAT] に設定されているときは（111 ページ）、トラックをまたいだ早送り／早戻しはできません。
頭出し（トラックサーチ）	[TRACK SEARCH ▶▶I] ボタンを押すと、次のトラックの先頭にジャンプします。 [TRACK SEARCH I◀◀] ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと、ひとつ前のトラックの先頭にジャンプします。
フレームサーチ	一時停止中に [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押すと、一時停止位置を移動します。

再生速度を調整する（テンポコントロール）

1 [**TEMPO**] スライダーを動かす

[+] 側に動かす：再生速度が速くなります。

[-] 側に動かす：再生速度が遅くなります。

- [**TEMPO ±6/±10/±16/WIDE**] ボタンを押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が ±6 (0.02%) → ±10 (0.05%) → ±16 (0.05%) → WIDE (0.5%) と切り替わります*。

[**WIDE**] の調整範囲は ±100% です。-100% に設定すると、再生が停止します。

* () 内は調整単位。

音程を変えずに再生速度を調整する（マスターテンポ）

マスターテンポをオンにすると、[TEMPO] スライダーで再生速度を変えても音程が変わりません。

1 [MASTER TEMPO] ボタンを押して、マスターテンポをオンにする

マスターテンポをオンにすると、ボタンが点灯します。

- もう一度 [MASTER TEMPO] ボタンを押すと、マスターテンポがオフになります。

録音

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力される音声と同じ音声を、記録デバイス（USB）にWAVファイルとして録音できます。

- 録音ファイルの名称は“REC***.WAV”（***は3桁の数字）となります。
- 本機は時計機能がないため、USBデバイスへ録音した際に日付や時刻の情報を書き込むことができません。

1 USB 2デバイス挿入口にUSB デバイスを挿入する

🔌 「USB セクション」 (34 ページ)

2 [MASTER REC (WAKE UP)] ボタンを押す

録音を開始し、[MASTER REC (WAKE UP)] ボタンが点滅します。

- 1GBの空き容量の記録デバイス（USB）で、約90分間の録音ができます。
- もう一度 [MASTER REC (WAKE UP)] ボタンを押すと、ボタンが消灯し録音を終了します。

録音しながらトラックを分割する

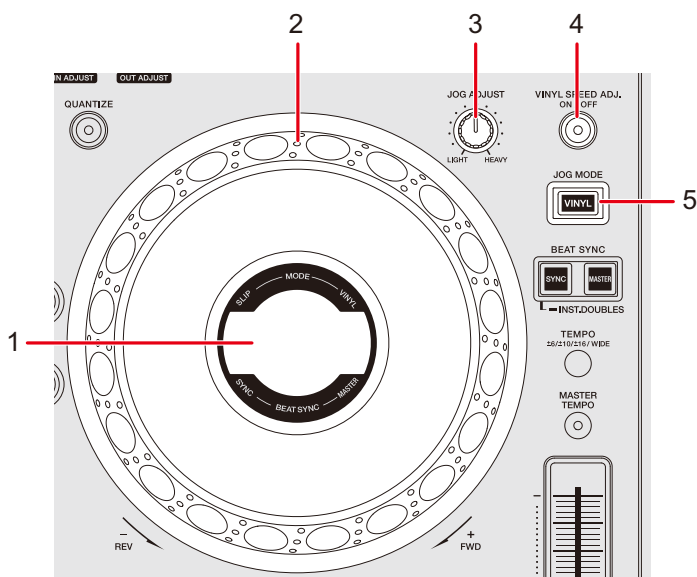
1 録音中に [TRACK MARK] ボタンを押す

[TRACK MARK] ボタンを押した位置でファイルを分割し、分割した位置以降を新しい音声ファイルとして録音を続けます。

🔌 「USB セクション」 (34 ページ)

ジョグの操作

ジョグセクション



1. ジョグ表示部 (30 ページ)
2. ジョグ (-REV/+FWD)
 - ジョグの天面にはセンサーが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
3. **JOG ADJUST** ノブ
ジョグの回転負荷を調整します。
4. **VINYL SPEED ADJ. ON/OFF** ボタン
VINYL モードでの再生と停止の速度調整機能をオン／オフします。
5. **JOG MODE (VINYL)** ボタン
ジョグの操作モードを切り替えます。

操作モードを切り替える

1 [JOG MODE (VINYL)] ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のモードが切り替わります。VINYL モードのときに、ボタンが点灯します。

- **VINYL モード**：ジョグの天面の金属部にタッチすると再生を停止します。タッチしたまま回転させるとスクラッチできます。
- **通常モード**：ジョグの天面の操作で、再生の停止やスクラッチはできません。

ジョグを操作する

ジョグで以下の操作が可能です。

機能	説明
ピッチベンド	再生中に外周部分を右に回すと再生速度が加速し、左に回すと減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。 • ジョグモードが通常モードのときは、ジョグの天面をタッチしながら回すことによって、同じ操作ができます。
スクラッチ	ジョグモードが VINYL モードのときに、再生中にジョグの天面の金属部にタッチしたまま回転させるとスクラッチできます。ジョグの天面から手を離すと、通常の再生に戻ります。
フレームサーチ	一時停止中にジョグを回すと一時停止位置を移動します。 • 1回転で1.8秒移動します。
スーパーファストサーチ	[SEARCH ◀▶] ボタンを押しながらジョグを回すと、高速で早送り／早戻しします。
スーパーファストトラックサーチ	[TRACK SEARCH ◀▶] ボタンを押しながらジョグを回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。

ジョグの回転負荷を調整する

1 [JOG ADJUST] ノブを回す

右に回す：負荷が重くなります。

左に回す：負荷が軽くなります。

再生と停止の速度を調整する（VINYL モード）

以下の速度を調節します。

- ジョグの天面をタッチ、または [PLAY/PAUSE ►/■] ボタンを押してから再生が減速して停止するまでの速度
- ジョグの天面を離す、または [PLAY/PAUSE ►/■] ボタンを押してから通常の再生に戻るまでの速度

1 [MENU / UTILITY] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 [VINYL SPEED ADJUST] で調整方法を選択する

- [TOUCH&RELEASE]：再生が減速して停止するまでの速度と、通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
- [TOUCH]：再生が減速して停止するまでの速度を調整します。
- [RELEASE]：通常の再生に戻るまでの速度を調整します。

3 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

4 [VINYL SPEED ADJUST] で [<] / [>] をタッチで速度を設定する

- [<]：速度が速くなります。
- [>]：速度が遅くなります。

5 [VINYL SPEED ADJUST] で [ON] をタッチする、またはデッキの [VINYL SPEED ADJ. ON/OFF] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面の [VINYL SPEED ADJUST] の設定が有効になります。

キュー

あらかじめ設定されているポイントを瞬時に呼び出します。

キューポイントを設定する

❖ 一時停止中

1 [CUE] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 一時停止中に [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す、またはジョグを回すと一時停止位置を微調整（0.5フレーム単位）できます。

❖ 再生中

1 [LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 新しいキューポイントを設定すると、既存のキューポイントは解除されます。

キューポイントに戻る

1 再生中に [CUE] ボタンを押す

キューポイントに戻り、一時停止します。

キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）

1 キューポイントに戻る

- ☞ 「キューポイントに戻る」 (61 ページ)

2 [CUE] ボタンを押し続ける

[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

- [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押すと、[CUE] ボタンを離しても再生を続けます。

キューポイントを保存する

1 キューポイントを設定する

- ☞ 「キューポイントを設定する」 (61 ページ)

2 [MEMORY] ボタンを押す

保存したキューポイントを呼び出す

1 キューポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X), ▶(LOOP 2X)] ボタンを押す

- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。コメントは、トラックリストでロータリーセクターを押し、コメントリストから確認することもできます (43 ページ)。コメントリストからコメントを選択し、[LOAD 1] または [LOAD 2] ボタンを押して、設定されているポイントを呼び出すこともできます。

保存したキューポイントを削除する

1 保存したキューポイントを呼び出す

- ☞ 「保存したキューポイントを呼び出す」 (62 ページ)

2 [DELETE] ボタンを押す

オートキューを設定する

トラックをロードしたときや頭出し（トラックサーチ）したときに、トラックの音声が始まる直前に（無音部を飛ばして）自動でキューポイントを設定します。

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

- ☞ 「SHORTCUT画面から設定を変更する」 (115 ページ)

2 [AUTO CUE] の [ON] をタッチする

オートキューがオンになると、WAVEFORM画面に [AUTO CUE] が表示されます。

- WAVEFORM画面の時間表示部を長押ししてオートキューのオン／オフを切り替えることもできます。
- 電源をオフにしてもオートキューの設定は保持されます。
- UTILITY設定の [AUTO CUE LEVEL] で、無音部として認識する音圧レベルを設定できます (110 ページ)。

ループ

指定した区間を繰り返し再生します。

ループを設定する

手動設定

- 1 再生中に、ループ再生を開始する位置（ループインポイント）で
[LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す
- 2 ループ再生を終了する位置（ループアウトポイント）で [LOOP
OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

設定した区間のループ再生を開始します。

自動設定

❖ 4ビートループ

- 1 再生中に [LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST)] ボタンを長押しする

トラックのBPMに合わせて、押した位置から4拍のループ再生を開始します。

- トラックのBPM が検知できないときは、BPM は120に設定されます。

ループポイントを微調整する

1 ループ再生中に、[LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST)] または [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループアジャストモードに切り替わります、

- [LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST)]：ループインポイントを調整します。
- [LOOP OUT (OUT ADJUST)]：ループアウトポイントを調整します。

2 [SEARCH ◀▶] ボタンを押す、またはジョグを回してループポイントを微調整する

- ループインポイントの調整可能範囲は±30 フレームです。
- もう一度 [LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST)] または [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押すか、10 秒以上何も操作しないとループアジャストモードが解除されます。

ループの長さを調整する

ループを半分の長さにする

1 ループ再生中に[CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが半分にになります。

ループを2倍の長さにする

1 ループ再生中に[CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが倍になります。

ループインポイントに戻ってループ再生する（リトリガー）

- 1 ループ再生中に **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[LOOP IN/4 BEAT (IN ADJUST)]** ボタンを押す

再生位置がループインポイントに戻り、ループ再生します。

アクティブループを使う

あらかじめ rekordbox で、保存されたループの1つをアクティブループに設定してください。

- 1 アクティブループを設定したトラックをロードする

再生位置が設定ポイントを通過すると、自動でループ再生を開始します。

ループ再生を解除する

- 1 ループ再生中に **[RELOOP/EXIT]** ボタンを押す

ループ再生が解除されます。

- もう一度 **[RELOOP/EXIT]** ボタンを押すと、設定されているループインポイントからループ再生を開始します。

エマージェンシーループ

本機は、トラックを再生し続けられなくなった場合の音切れを防ぐため、自動でビートループを設定します。

- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。
- エマージェンシーループを解除するには、次のトラックをロードしてください。

ループポイントを保存する

1 ループポイントを設定する

- ☑ 「ループを設定する」 (64 ページ)

2 [MEMORY] ボタンを押す

保存したループポイントを呼び出す

1 ループポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X), ▶(LOOP 2X)] ボタンを押す

- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。コメントは、トラックリストでロータリーセクターを押し、コメントリストから確認することもできます (43 ページ)。コメントリストからコメントを選択し、[LOAD 1] または [LOAD 2] ボタンを押して、設定されているポイントを呼び出すこともできます。

保存したループポイントを削除する

1 保存したループポイントを呼び出す

2 [DELETE] ボタンを押す

- アクティブループに設定されているループを削除した場合は、アクティブループも削除されます (66 ページ)。

クオンタイズ（デッキ用）

キュー、ループインポイント、ループアウトポイント、ホットキューを設定する際に、ビートとタイミングがずれた場合でも、自動で最も近い拍位置にポイントを合わせます。

また、ホットキュー、ループ、逆再生、スリップなどをリズムを崩さずに使用できます。

- rekordbox で解析されていないトラックはクオンタイズ機能は使用できません。rekordbox でトラックを解析する方法については、rekordbox の操作説明書を参照してください（8 ページ）。
- UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面で [QUANTIZE BEAT VALUE] を設定できます（110 ページ、116 ページ）。

クオンタイズを使う

1 [QUANTIZE] ボタンを押す

クオンタイズ機能がオンになり、画面に [QUANTIZE] とクオンタイズの拍数が表示されます。

- もう一度 [QUANTIZE] ボタンを押すと、クオンタイズ機能がオフになります。

スリップ

スリップモードをオンにすると、以下の操作中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

機能	説明
スリップポーズ	VINYL モード（59 ページ）で、再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押すと、一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップスクラッチ	VINYL モード（59 ページ）で、再生中にジョグの天面を操作してスクラッチすると、スクラッチ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップループ	ループ再生を開始すると（64 ページ）、ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップリバース	再生中に [DIRECTION (REV)] ボタンを押すと逆再生します。逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。 [DIRECTION (REV)] ボタンを押した位置から 8 拍経過した位置で自動的に解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
スリップホットキュー	再生中にホットキューが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押すと、ホットキューポイントに戻り、ボタンを押している間再生を続けます。ホットキュー再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。 ホットキュー開始から 4 拍経過した位置で自動的に解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップモードを設定する

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

- スリップ動作中は [SLIP] ボタンが点滅します。
- スリップモード中の現在再生位置は、WAVEFORM 画面の全体波形と拡大波形に黄色の線で表示されます。
バックグラウンドでの再生位置は、WAVEFORM 画面の全体波形に白色の線で表示されます。
- もう一度 [SLIP] ボタンを押す、またはトラックをロードするとスリップモードがオフになります。

ビートシンク

ビートシンクをオンにすると、本機の左右のデッキで再生するトラックのテンポ（BPM）と拍位置を自動で合わせます。

- rekordbox で解析していないトラックはビートシンクできません。

ビートシンクを使う

1 マスターにするデッキ（DECK 1またはDECK 2）で、rekordboxで解析済みのトラックを再生する

- rekordbox で解析済みのトラックを先に再生した側のデッキがマスターになります。
- マスターにするデッキで **[MASTER]** ボタンを押して、マスターを指定することもできます。

2 マスターにシンクさせるデッキで、rekordboxで解析済みのトラックを再生する

3 マスターにシンクさせるデッキで **[BEAT SYNC / INST.DOUBLES]** ボタンを押す

ビートシンクがオンになります。

- もう一度 **[BEAT SYNC / INST.DOUBLES]** ボタンを押すと、ビートシンクがオフになります。

[TEMPO] スライダーの位置（BPM）が再生テンポ（BPM）と一致していないときは、ビートシンクの再生テンポを維持しています。再度トラックをロードし直すか、**[TEMPO]** スライダーを再生テンポに合わせると通常の動作に戻り、**[TEMPO]** スライダーでテンポコントロールできるようになります。

インスタントダブルスを使う

DECK 1とDECK 2のいずれかで再生中のトラックの再生位置と同じ位置から、もう一方のデッキで再生を開始します。

1 再生位置を合わせて再生を開始したいデッキの **[BEAT SYNC/ INST.DOUBLES]** ボタンを長押しする

- 再生位置を合わせて再生を開始したいデッキの **[LOAD]** ボタン (**[LOAD 1]** または **[LOAD 2]** ボタン) を2回押して、インスタントダブルスを開始することもできます。

ビートグリッド

拍位置（ビートグリッド）を調整します。

- rekordbox で解析していないトラックは調整できません。

ビートグリッドを調整する

1 WAVEFORM 画面でロータリーセクターを長押し、または画面の [ZOOM] ／ [GRID] を長めにタッチする

GRID ADJUST モードに切り替わります。

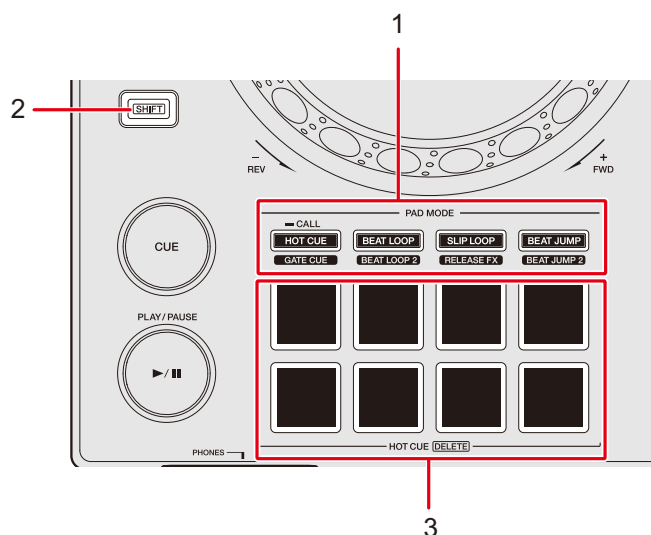
2 ロータリーセクターを回して、ビートグリッドを調整する

- パッドモード情報表示中に、画面上の以下を使って調整することでもできます。
 - － [SNAP GRID(CUE)]：設定されているキューポイントに 1 拍目を移動します。
 - － [SHIFT GRID]：同期中に調整した内容（ピッチベンドなど）を反映します。
 - － [<1/2]、[1/2>]：1/2 拍単位でビートグリッドを移動します。
- [RESET] をタッチすると、元のビートグリッドに戻ります。
- もう一度 WAVEFORM 画面でロータリーセクターを長押し、または画面の [ZOOM] ／ [GRID] を長めにタッチすると、ZOOM モードに戻ります。

パフォーマンスパッドの操作

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスを行うことができます。

パフォーマンスパッドセクション



1. パッドモードボタン

- **HOT CUE/CALL (GATE CUE)** ボタン：ホットキューモードまたはゲートキューモードに切り替えます。
- **BEAT LOOP (BEAT LOOP 2)** ボタン：ビートループモードに切り替えます。
- **SLIP LOOP (RELEASE FX)** ボタン：スリッブループモードまたはリリースFXモードに切り替えます。
- **BEAT JUMP (BEAT JUMP 2)** ボタン：ビートジャンプモードに切り替えます。

2. SHIFT ボタン

3. パフォーマンスパッド

ホットキュー／ゲートキュー

パフォーマンスパッドを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。

ホットキューを設定する

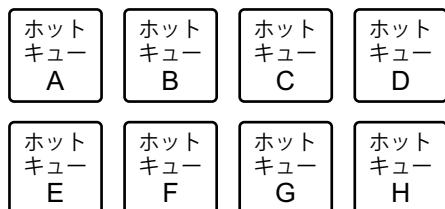
1 [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントが設定されます。

- 設定できるホットキューは、1トラックにつき8個までです。
- ホットキューは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。



- ループ再生中の場合は、ループが設定されます。
- ホットキューが設定されているパフォーマンスパッドには、ホットキューを設定できません。新しく設定するには、設定されているホットキューを削除してください (77 ページ)。
- パフォーマンスパッドは、設定されている内容によって以下のように点灯します。rekordboxで、色を変更することもできます。

設定されている内容	UTILITY 設定の [HOT CUE COLOR] 設定	
	[OFF]	[ON]
キューポイント	緑	ボタン固定色

設定されている内容	UTILITY 設定の [HOT CUE COLOR] 設定	
	[OFF]	[ON]
ループ	オレンジ	オレンジ
設定なし	点灯しない	点灯しない

ホットキューから再生する

1 [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューの再生を開始します。

- ループが設定されている場合は、ループ再生を開始します (64 ページ)。

ホットキューからゲート再生する

1 ホットキューモードで [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを押す

ゲートキューモードに切り替わります。

2 一時停止中に、ホットキューが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押し続ける

ホットキューの再生を開始し、パッドを押している間再生を続けます。

- ループが設定されている場合は、ループ再生を開始します (64 ページ)。
- ゲート再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押すと、パフォーマンスパッドを離しても再生を続けます。

ホットキューを削除する

1 [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、いずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューが削除されます。

ホットキューを呼び出す

❖ 自動呼び出し

記録メディア（USB）に保存してあるホットキューを、トラックロード時に自動で呼び出します。

1 [MENU / UTILITY] ボタンを長押し、または [SHORTCUT] ボタンを押す

[UTILITY] または [SHORTCUT] 画面が表示されます。

2 [HOT CUE AUTO LOAD] を [ON] または [rekordbox SETTING] に設定する

- [ON]：すべてのトラックに“H”が表示され、トラックのロード時に自動でホットキューを呼び出します。画面の [A. HOT CUE] が赤色で点灯します。
- [rekordbox SETTING]：“H”が表示されているトラック（rekordboxで [HOT CUE AUTO LOAD] を設定したトラック対象）のロード時に、自動でホットキューを呼び出します。画面の [A. HOT CUE] が白色で点灯します。
- [OFF]：トラックのロード時に、自動でホットキューを呼び出しません。

❖ 手動呼び出し

UTILITY設定または[**SHORTCUT**]画面で[**HOT CUE AUTO LOAD**]が[**OFF**]に設定されているときや、[**rekordbox SETTING**]に設定されているときに自動呼び出しの条件を満たしていないときは、手動で呼び出すことができます。

1 [**HOT CUE/CALL (GATE CUE)**] ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

2 [**HOT CUE/CALL (GATE CUE)**] ボタンを長押しする

ホットキューが設定されているパフォーマンスパッドが点滅します。

3 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

設定されているホットキューを呼び出します。

- 以下の操作を行うと、ホットキュー呼び出しモードがオフになります。
 - ー ホットキューをすべて呼び出す
 - ー [**HOT CUE/CALL (GATE CUE)**] ボタンを押す
 - ー 再生するトラックを変更する

ビートループ

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数または小節数のループが設定されます。

ビートループを使う

1 [BEAT LOOP (BEAT LOOP 2)] ボタンを押す

ビートループモードに切り替わります。

2 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されてる拍数または小節数で、トラックのBPMに合わせてループ再生を開始します。ループ再生中は、パフォーマンスパッドが点滅します。

- ビートループの拍数または小節数設定は以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。ビートループモードで [BEAT LOOP (BEAT LOOP 2)] ボタンを押すと、BEAT LOOP モードと BEAT LOOP 2 モードを切り替えることができます。

BEAT LOOP モード：

1/4 拍	1/2 拍	1 拍	2 拍
4 拍	8 拍	16 拍	32 拍

BEAT LOOP 2 モード：

3/4 拍	1 拍	3/2 拍	3 拍
5 拍	6 拍	7 拍	9 拍

- 点滅しているパフォーマンスパッドを押す、または [RELOOP/EXIT] ボタンを押すと、ループ再生を解除します。
- トラックのBPMが検知できないときは、BPMは120に設定されます。

スリップループ

スリップのオン／オフに関わらず、パフォーマンスパッドを押している間スリップループ再生を続けます。

スリップループを使う

1 [SLIP LOOP (RELEASE FX)] ボタンを押す

スリップループモードに切り替わります。

2 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されてる拍数または小節数で、トラックのBPMに合わせてループ再生を開始します。パフォーマンスパッドを押している間スリップループ再生を続けます。

- ループの拍数または小節数設定は以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

1/16 拍	1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍
1 拍	2 拍	1/3 拍	3/4 拍

- スリップループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。
- パフォーマンスパッドを離すとスリップループ再生が解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。
- トラックのBPMが検知できないときは、BPMは120に設定されます。

リリースFX

パフォーマンスパッドを押している間、リリースFXが動作します。

リリース FX を使う

1 [SLIP LOOP (RELEASE FX)] ボタンを押す

リリースFXモードに切り替わります。

2 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドを押している間、リリースFXが動作します。

- リリースFXは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

V.BRAKE SHORT	B.SPIN SHORT	ECHO OUT	MUTE
V.BRAKE LONG	B.SPIN LONG	BUILD UP	DUCKING

- **V.BRAKE SHORT / V.BRAKE LONG** : 再生速度が徐々に遅くなり、再生を停止します。
- **B.SPIN SHORT / B.SPIN LONG** : 高速でリバース再生をし、再生を停止します。
- **ECHO OUT** : 1ビートループと音量のフェードアウトにより、エコーのような効果を加えます。
- **BUILD UP** : ループの長さを段階的に短くし、ビルドアップを作り出します。
- **MUTE** : 再生音声をミュートします。
- **DUCKING** : ビートに合わせて音量を変化させ、ダッキングのような効果を加えながらフェードアウトします。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドを離してもリリースFXが動作し続けます。

ビートジャンプ／ループムーブ

再生中のトラックのリズムを崩さずに、瞬時に再生位置を移動します。

ビートジャンプ／ループムーブを使う

1 [BEAT JUMP (BEAT JUMP 2)] ボタンを押す

ビートジャンプモードに切り替わります。

2 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられた拍数または小節数で、再生位置を移動します。

- ジャンプする拍数または小節数設定は以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。ビートジャンプモードで [BEAT JUMP (BEAT JUMP 2)] ボタンを押すと、BEAT JUMPモードとBEAT JUMP 2モードを切り替えることができます。

BEAT JUMP モード：

1 拍 REV	1 拍 FWD	2 拍 REV	2 拍 FWD
4 拍 REV	4 拍 FWD	8 拍 REV	8 拍 FWD

BEAT JUMP 2 モード：

1/2 拍 REV	1/2 拍 FWD	2 拍 REV	2 拍 FWD
4 拍 REV	4 拍 FWD	16 拍 REV	16 拍 FWD

- ループ再生中の場合は、設定されている拍数でループが移動します。

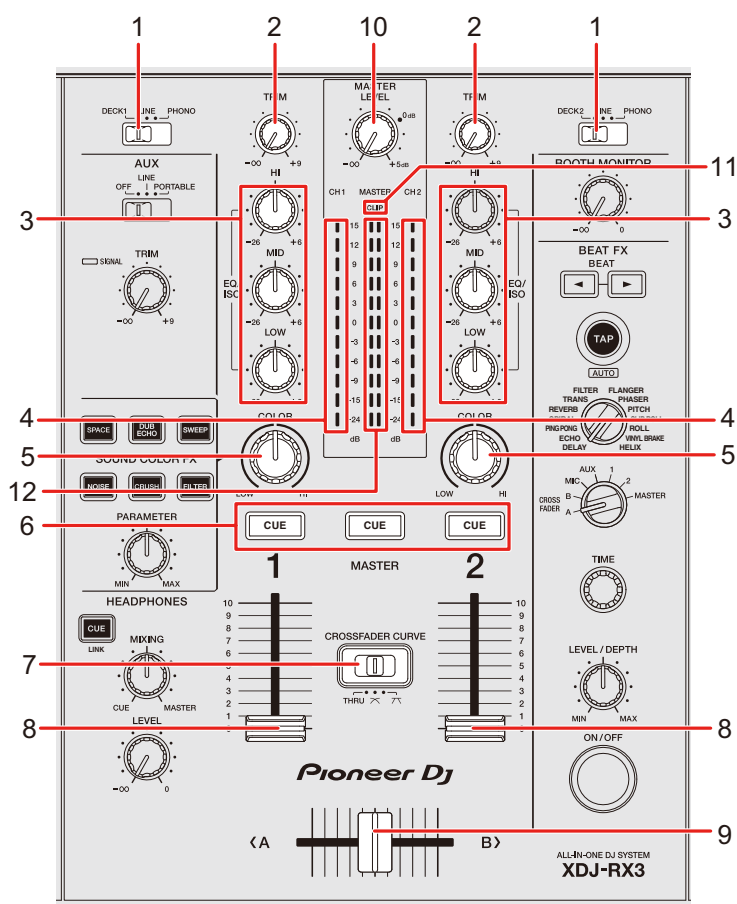
音声出力

以下の操作を行って、音声を出力します。

- －「音声を出力する」(85 ページ)
- －「チャンネル音声の音質を調整する」(86 ページ)
- －「フェーダーを設定する」(86 ページ)

🔊 [BOOTH] 端子から音声を出力する方法については、「ブースモニターを使う」(89 ページ) を参照してください。

チャンネルセクション／マスターセクション



❖ チャンネルセクション

1. 入力切替えスイッチ

入力音声を選択します。

- **[DECK 1, DECK 2]**：本機のデッキ
- **[LINE]**：[LINE] 端子に接続しているマルチプレーヤーなど
- **[PHONO]**：[PHONO] 端子に接続しているターンテーブル

2. TRIM ノブ

チャンネルの入力音声の音量を調整します。

3. EQ/ISO (HI, MID, LOW) ノブ

各音域の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- **[HI]**： $-\infty$ dB $\sim$ +6 dB (ISO) $\diagup$ -26 dB $\sim$ +6 dB (EQ)
- **[MID]**： $-\infty$ dB $\sim$ +6 dB (ISO) $\diagup$ -26 dB $\sim$ +6 dB (EQ)
- **[LOW]**： $-\infty$ dB $\sim$ +6 dB (ISO) $\diagup$ -26 dB $\sim$ +6 dB (EQ)

4. チャンネルレベルインジケータ

チャンネルフェーダー通過前の音量を表示します。

5. COLOR ノブ (95 ページ)

6. CUE ボタン (88 ページ)

7. CROSSFADER CURVE スイッチ

クロスフェーダーカーブを設定します。

- **THRU**：クロスフェーダーを使用しません。
- ：クロスフェーダーを一方 (DECK 1 側または DECK 2 側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が徐々に立ち上がります。
- ：クロスフェーダーを一方 (DECK 1 側または DECK 2 側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が急峻に立ち上がります。

8. チャンネルフェーダー

UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [CHANNEL FADER CURVE] で指定されているカーブ特性 (112 ページ、117 ページ) にしたがって、音声を出力します。奥側へスライドすると音量が上がり、手前へスライドすると音量が下がります。

9. クロスフェーダー

[**CROSSFADER CURVE**] スイッチで指定されているカーブ特性にしたがって、音声を出力します。[<A] 側へスライドすると DECK 1 の音声を、[B>] 側へスライドすると DECK 2 の音声を出力します。

❖ マスターセクション

10. MASTER LEVEL ノブ

マスター音声の音量を調整します。

11. CLIP インジケータ

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から過大音量が出力されたときに点滅します。

12. マスターレベルインジケータ

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子に出力するマスター音声の音量を表示します。

音声を出力する

チャンネル入力音量を調整する

1 入力切替えスイッチで入力音声を選択する

2 [TRIM] ノブを回して、入力音声の音量を調整する

音声が入力されると、チャンネルレベルインジケータが点灯します。

チャンネル出力音量を調整する

1 チャンネルフェーダーを動かして、出力音声の音量を調整する

2 クロスフェーダーを動かして、出力音声を調整する

- [**CROSSFADER CURVE**] スイッチを [**THRU**] に設定しているときは、クロスフェーダーの調整は必要ありません。

マスター音量を調整する

1 [MASTER LEVEL] ノブを回して、マスター音声の音量を調整する

マスター音声が出力されると、マスターレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル音声の音質を調整する

1 [EQ/ISO (HI、MID、LOW)] ノブを回して、各音域の音質を調整する

- UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [EQUALIZER CURVE] で、[EQ/ISO (HI、MID、LOW)] ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します（112 ページ、116 ページ）。

フェーダーを設定する

チャンネルフェーダーとクロスフェーダーを設定します。

チャンネルフェーダーを設定する

1 [MENU / UTILITY] ボタンを長押し、または [SHORTCUT] ボタンを押す

[UTILITY] または [SHORTCUT] 画面が表示されます。

2 [CHANNEL FADER CURVE] で、チャンネルフェーダーカーブを設定する

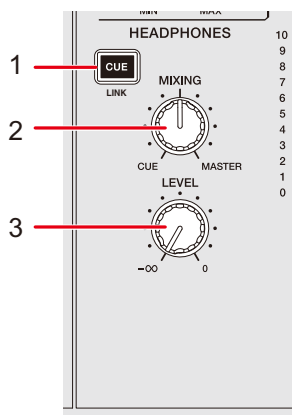
- ➡ [CHANNEL FADER CURVE]（112 ページ、117 ページ）

クロスフェーダーを設定する

- 1 **〔CROSSFADER CURVE〕** スイッチで、クロスフェーダーカーブを設定する

音声モニター

ヘッドホンセクション



1. CUE (LINK) ボタン (42 ページ)

2. MIXING ノブ

〔CUE〕ボタンで選択しているチャンネルの音声と、マスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

- チャンネルの音声のみをモニターしたいときは〔CUE〕に、マスターチャンネルの音声のみをモニターしたいときは〔MASTER〕に合わせてください。

3. LEVEL ノブ

ヘッドホンから出力する音量を調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 〔PHONES〕端子にヘッドホンを接続する

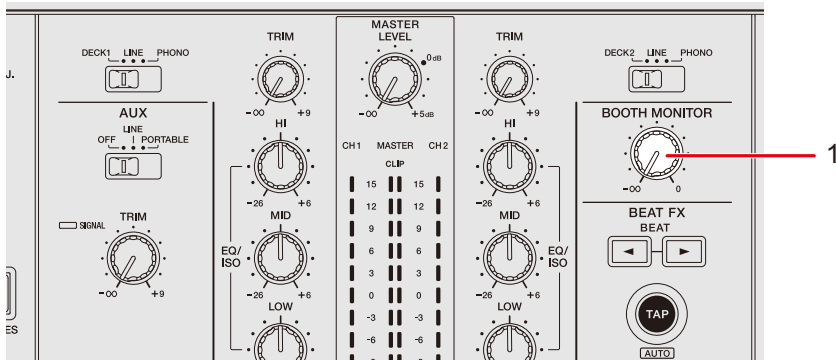
- 🔊 「本体フロント部」(21 ページ)

2 モニターしたいチャンネルの〔CUE〕ボタンを押す

- UTILITY設定または[**SHORTCUT**]画面の[**HEADPHONES MONO SPLIT/STEREO**]で、ヘッドフォンの出力音声（MONO SPLIT /ステレオ）を設定できます（113ページ、117ページ）。

- 3 [**MIXING**] ノブを回して、チャンネルとマスター音声の音量バランスを調整する
- 4 [**LEVEL**] ノブを回して、音量を調整する

ブースセクション



1. **BOOTH MONITOR** ノブ

ブースモニター音声の音量を調整します。

ブースモニターを使う

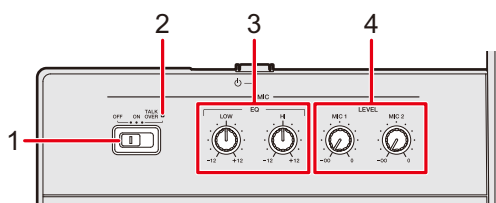
1 [**BOOTH**] 端子にブースモニター用の機器を接続する

➡ 「本体リア部」（21 ページ）

2 [**BOOTH MONITOR**] ノブを回して、出力音声の音量を調整する

マイク

MIC セクション



1. OFF, ON, TALK OVER 切替えスイッチ

マイク音声の出力を設定します。

- [OFF]：マイクをオフにします。
- [ON]：マイクをオンにします。
- [TALK OVER]：マイクを TALK OVER モードにします。マイクに -10 dB 以上の音声が入力されると、マイクチャンネル以外の音量が -24 dB 減衰します。

2. マイクインジケータ

[OFF, ON, TALK OVER] 切替えスイッチの設定を以下のように示します。

- 消灯：[OFF] に設定されています。
- 点灯：[ON] に設定されています。
- 点滅：[TALK OVER] に設定されています。

3. EQ (HI, LOW) ノブ

[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音声の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI]： -12 dB $\sim$ $+12$ dB
- [LOW]： -12 dB $\sim$ $+12$ dB

4. LEVEL (MIC 1, MIC 2) ノブ

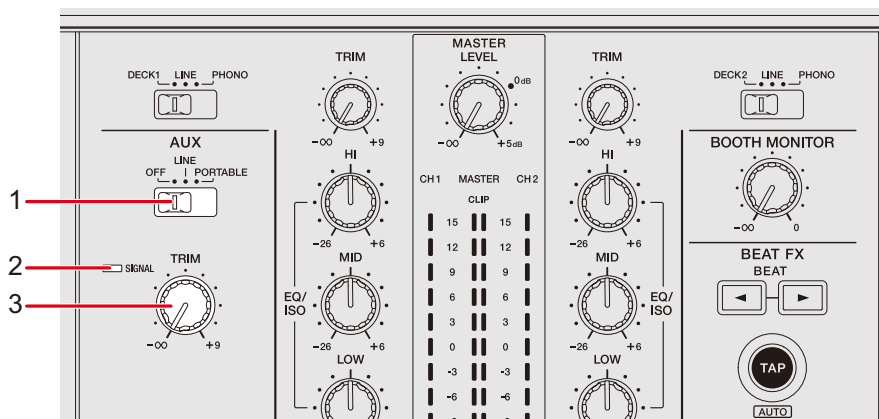
[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音量を調整します。

マイクを使う

- 1 **[MIC 1]** または **[MIC 2]** 端子にマイクを接続する
 - ☞ 「本体リア部」(21 ページ)
- 2 **[OFF, ON, TALK OVER]** 切替えスイッチを切り替えて、マイク音声の出力を設定する
- 3 **[LEVEL MIC 1]** または **[LEVEL MIC 2]** ノブを回して、マイク音声の音量を調整する
 - 右に回しすぎると、大音量で出力されます。ご注意ください。
- 4 **[EQ (HI, LOW)]** ノブを回して、各音域の音質を調整する
- 5 マイクに音声を入力する

AUX

AUX セクション



1. AUX (OFF, LINE, PORTABLE) スイッチ

- [OFF] : 入力音声をミュートします。
- [LINE] : [AUX LINE] 端子に接続されている機器を使用します。
- [PORTABLE] : [AUX PORTABLE] 端子に接続されている機器を使用します。

2. SIGNAL インジケータ

AUXに音声信号が入力しているときに点灯します。

3. TRIM ノブ

AUXチャンネルの入力音声の音量を調整します。

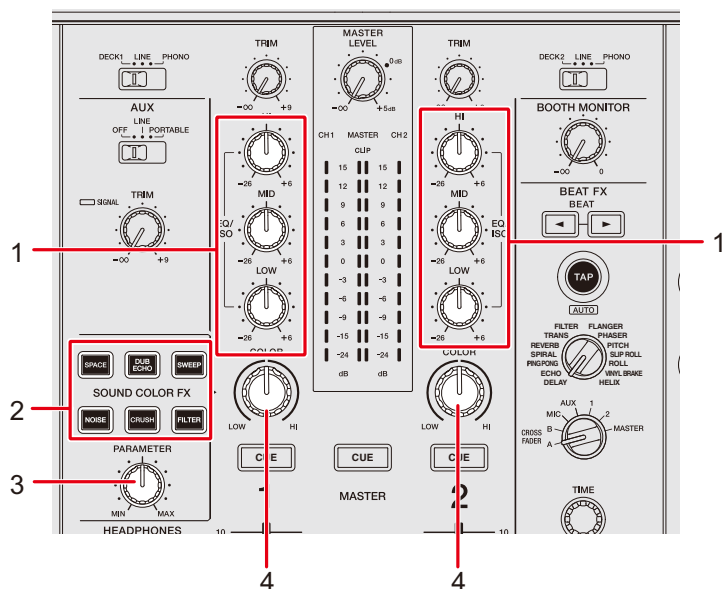
AUX を使う

- 1 [AUX LINE] 端子または [AUX PORTABLE] 端子に外部機器を接続する
🔍 「本体リア部」(21 ページ)
- 2 [AUX (OFF, LINE, PORTABLE)] スイッチで、使用する外部機器を選択する
- 3 [TRIM] ノブを回して、入力音量を調整する

SOUND COLOR FX

FILTERやその他のエフェクトを加えます。

SOUND COLOR FX セクション



1. **EQ/ISO (HI, MID, LOW) ノブ** (83 ページ)
2. **SOUND COLOR FX ボタン**
SOUND COLOR FXを選択します。
3. **PARAMETER ノブ**
FILTERやその他のエフェクトを調整します。
4. **COLOR ノブ**
エフェクトを調整します。

SOUND COLOR FX を使う

🔊 「SOUND COLOR FXの種類と設定方法」(96 ページ)

1 使用するエフェクトの [SOUND COLOR FX] ボタンを押す

使用中のエフェクトのボタンが点滅します。

- CH 1 と CH 2 に選択したエフェクトが加わります。

2 [COLOR] ノブを回して、エフェクトを調整する

ノブを回したチャンネルの音声のエフェクトを調整します。

3 [PARAMETER] ノブを回して、エフェクトの量的パラメーターを調整する

- もう一度使用中のエフェクトボタンを押すと、エフェクトがオフになります。

SOUND COLOR FXの種類と設定方法

ノブの操作で下記の内容を設定できます。

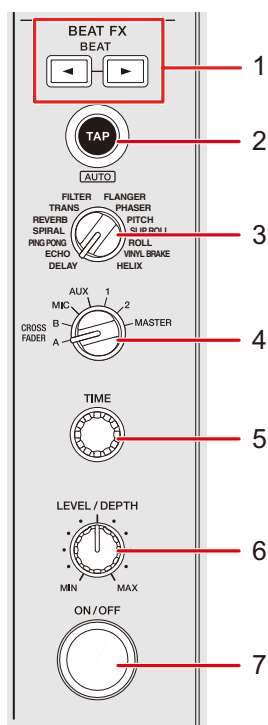
エフェクト／操作	説明
SPACE	原音に残響効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：中音域と高音域に残響効果を加えます。 右に回す：中音域と低音域に残響効果を加えます。
• PARAMETER:	フィードバック
DUB ECHO	ディレイ音を減衰させながら数回出力して、反響効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：中音域に反響効果を加えます。 右に回す：高音域に反響効果を加えます。
• PARAMETER:	フィードバック
SWEEP	ゲート効果（タイトな音にして音量感を減らす）またはバンドパスフィルダーの効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：ゲート効果を加えます。 右に回す：バンドパスフィルターの帯域幅が徐々に狭くなります。
• PARAMETER:	エフェクト効果
NOISE	フィルターに通したホワイトノイズを、チャンネルの音声とミックスして出力します。
• COLOR:	左に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• PARAMETER:	ノイズの音量
• EQ/ISO (HI、MID、LOW) :	ノイズの音質

エフェクト／操作	説明
CRUSH	原音をクラッシュしたような音に変化させて出力します。
• COLOR:	左に回す：音声のひずみを増します。 右に回す：音声をクラッシュしてからハイパスフィルターを通過させます。
• PARAMETER:	エフェクト効果
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。
• COLOR:	左に回す：ローパスフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ハイパスフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• PARAMETER:	レゾナンス

BEAT FX

再生中のトラックのテンポ（BPM）に合わせたさまざまなエフェクトを加えます。

BEAT FX セクション



1. **BEAT ◀ / ▶ ボタン**
エフェクトの拍数を設定します。
2. **TAP (AUTO) ボタン**
BPMを設定します。
 - 本機の電源をオンにしたときは、AUTOモードに設定されます。
3. **BEAT FX切替えスイッチ**
BEAT FXを選択します。
4. **BEAT FXチャンネル切替えスイッチ**
エフェクトを加えるチャンネルを選択します。

5. TIME ノブ

時間的パラメーターを調節します。

6. LEVEL/DEPTH ノブ

- 左に回しきると、原音が出力されます。

7. ON/OFF ボタン

BEAT FX をオン／オフします。オンになると、ボタンが点滅します。

BEAT FX を使う

🔗 「BEAT FXの種類と設定方法」(102 ページ)

1 BEAT FX 切替えスイッチを回して、BEAT FX を選択する

- BEAT FX BANK に BEAT FX が登録してある場合は、BANK ボタンをタッチして BEAT FX を選択することもできます (106 ページ)。

2 BEAT FX チャンネル切替えスイッチを回して、BEAT FX を加えるチャンネルを選択する

3 [BEAT ◀] または [BEAT ▶] ボタンを押して、エフェクトを同期させる拍数の倍率を設定する

4 [TIME] ノブや [LEVEL/DEPTH] ノブを回して、エフェクトを調整する

5 [ON/OFF] ボタンを押す、または X-PAD をタッチして BEAT FX をオンにする

選択したチャンネルの音声に、選択したエフェクトを加えます。

- もう一度 [ON/OFF] ボタンを押す、または X-PAD を離すと BEAT FX がオフになります。

- X-PAD は、WAVEFORM 画面で **[BEAT FX]** をタッチして BEAT FX 表示に切り替えると使用できます。



1. **BEAT FX**
2. **X-PAD** : タッチして、エフェクトをオン／オフします。また、タッチしたりなぞったりして、エフェクトの時間的／量的パラメーターを調節できます。

BPM を手動で設定する (TAP モード)

1 再生中の音声の拍に合わせて、**[TAP (AUTO)]** ボタンを 2 回以上指でたたく

[TAP (AUTO)] ボタンを指でたたいた間隔の平均値が BPM に設定されます。

- **[TAP (AUTO)]** ボタンを使って BPM を設定すると、拍の倍率は 1/1 に設定され、1 拍の時間がエフェクトタイムに設定されます。
- **[TAP (AUTO)]** ボタンを押しながら **[TIME]** ノブを回すと、BPM 値を 1 単位で調整できます。
- **[TAP (AUTO)]** ボタンを押しながら **[BEAT ◀]** または **[BEAT ▶]** ボタンを押すと、BPM を 0.1 単位で設定できます。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[TAP (AUTO)]** ボタンを押すと、AUTO モードに戻り自動で BPM を取得します。

クオンタイズを使う（エフェクト用）

クオンタイズ機能を使用すると、BEAT FXの[ON/OFF] ボタンやX-PADをラフに操作しても、rekordboxで解析された楽曲のGRID情報をもとに、再生中のトラックのテンポとずれることなくエフェクトを加えることができます。

- あらかじめrekordboxで楽曲を解析してください。rekordboxで楽曲ファイルを解析する方法については、rekordboxの操作説明書を参照してください（8 ページ）。

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

🔍 「SHORTCUT画面から設定を変更する」（115 ページ）

2 [QUANTIZE (EFFECT)] で [ON] をタッチする

クオンタイズ機能がオンになります。

BEAT FXの種類と設定方法

ボタンやノブの操作で下記の内容を設定できます。

BEAT FX / 操作	説明
DELAY 1 2	拍に合わせて、ディレイ音を1回出力します。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：1～4000（ms）
• LEVEL/DEPTH :	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD :	ディレイタイム
ECHO 1 2	拍に合わせて、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：1～4000（ms）
• LEVEL/DEPTH :	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD :	ディレイタイム
PING PONG 1 2	拍に合わせて、左右でディレイタイムが異なるディレイ音を減衰させながら数回出力します。ステレオ感の効果が得られます。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：10～4000（ms）
• LEVEL/DEPTH :	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD :	ディレイタイム

BEAT FX / 操作	説明
SPIRAL 1 2	入力音に残響効果を加えます。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：10～4000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスとフィードバック
• X-PAD:	ディレイタイム
REVERB 1 2	入力音に残響効果を加えます。
• BEAT ◀ / ▶:	残響エフェクトの度合い：1～100%
• TIME :	残響エフェクトの度合い：1～100%
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD:	フィルターのカットオフ周波数
TRANS	拍に合わせて、音声を周期的にカットします。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのカットする周期（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	エフェクト時間：10～16000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスとデューティ
• X-PAD:	カットする周期
FILTER	拍に合わせて、周期的にフィルターのカットオフ周波数が変化します。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16～64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10～32000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• X-PAD:	エフェクト効果を細かく揺らす周期

BEAT FX / 操作	説明
FLANGER	拍に合わせて、周期的なフランジャー効果を加えます。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• X-PAD:	エフェクト効果を細かく揺らす周期
PHASER	拍に合わせて、周期的なフェイザー効果を加えます。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• X-PAD:	エフェクト効果を細かく揺らす周期
PITCH	原音の音程を変化させます。
• BEAT ◀ / ▶:	エフェクト音の音程：-50~100
• TIME :	エフェクト音の音程：-50~100
• LEVEL/DEPTH:	エフェクト音の音程
• X-PAD:	エフェクト音の音程
SLIP ROLL	エフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。 エフェクト時間が変わると入力音を再び記録します。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD:	エフェクト時間

BEAT FX / 操作	説明
ROLL	エフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD:	エフェクト時間
VINYL BRAKE	拍に合わせて入力音の再生速度が徐々に遅くなり、再生が停止します。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト周期（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	再生速度
• X-PAD:	エフェクト時間
HELIX	入力音を記録し、記録した音を設定した時間的パラメーターに合わせて繰り返し出力します。
• BEAT ◀ / ▶:	BPMの1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	音を重ねる割合
	• [LEVEL/DEPTH] ノブを左に回し切ってから右に回すと、減衰率も変化させることができます。右に回し切ると、出力音が固定されます。
• X-PAD:	エフェクト時間

¹ BEAT FXチャンネル切替えスイッチが [1]、[2] に設定されているときは、そのチャンネルの [CUE] ボタンを押してもエフェクト音はモニターできません。

² チャンネルフェーダーを [0] の位置に合わせて入力音を切ると、エフェクト音が残ります（エフェクトをオフにしたあともエフェクト音が残ります）。

BEAT FX BANKにBEAT FXを登録する

BEAT FXをBEAT FX BANKに4つまで登録することができます。電源をオフにしても、BEAT FX BANKは保持されます。

- 1 BEAT FX切替えスイッチで、登録するBEAT FXを選択する
- 2 WAVEFORM画面で、[BEAT FX] をタッチする



1. BEAT FX BANK
2. BEAT FX

3 空のBEAT FX BANKをタッチする

BEAT FX 切替えスイッチで選択されているBEAT FXが登録されます。

- BEAT FXが登録されているBEAT FX BANKには上書き登録できません。 をタッチして登録を解除してから、新しいBEAT FXを登録してください。

DJソフトウェアを使う

MIDI 対応のソフトウェアをインストールした PC / Mac を USB ケーブルを使って接続すると、本機から DJ ソフトウェアを操作できます。

- 本機で PC / Mac 上のトラックを再生するには、お使いの PC / Mac にあらかじめ専用オーディオドライバソフトウェアをインストールしてください（14 ページ）。
- 本機の MIDI メッセージについては、下記のサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- お使いの PC / Mac に、あらかじめ DJ ソフトウェアをインストールし、オーディオおよび MIDI の設定を行ってください。
- rekordbox または Serato DJ Pro をお使いの場合は、MIDI の設定は必要ありません。

DJソフトウェアを操作する

1 本機と PC / Mac を接続する

☞ 「本体リア部」（21 ページ）

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

☞ 「SOURCE 画面」（23 ページ）

3 [SOFTWARE CONTROL] を選択する

[SOFTWARE CONTROL] 画面が表示されます。

4 [LOAD 1] または [LOAD 2] ボタンを押す

ボタンを押したデッキ部がコントロールモードに切り替わります。

5 DJソフトウェアを起動する

DJ ソフトウェアとの通信を開始します。

DJソフトウェアを使う

- ボタンによっては、DJソフトウェアの操作に使用できないことがあります。
- 通信中の DJ ソフトウェア以外のデバイスから本機にトラックがロードされると、コントロールモードがオフになります。
- WAVEFORM 画面でデッキ情報表示部のデッキ番号をタッチすると、コントロールデッキ 1 と 3、2 と 4 をトグルで切り替えることができます。
- UTILITY 設定の **[MIXER MODE]** を **[XDJ-RX3]** に設定すると、ミキサー部はリアルミキサーとして動作します（113 ページ）。

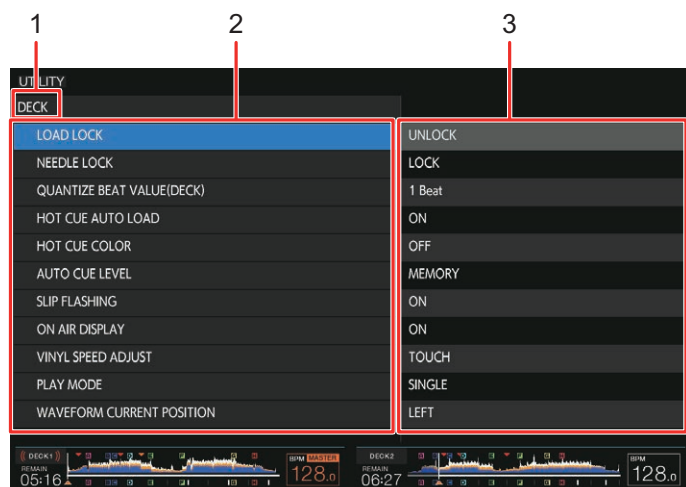
設定

UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面で本機の設定を変更します。また、あらかじめ [MY SETTINGS]（本機の機能設定）を記録メディア（USB）に保存しておく、DJ 交代時などに設定を読み込んで、一括で本機に適用できます。

設定を変更する

1 [MENU / UTILITY] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。



1. カテゴリー
2. 設定項目
3. 設定値

2 設定項目を選択する

🔍 「UTILITY 設定項目」（110 ページ）

3 設定値を選択する

- [MENU / UTILITY] ボタンを押すと、[UTILITY] 画面を閉じます。

UTILITY 設定項目

❖ DECK カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
LOAD LOCK ¹	再生中にほかのトラックのロードを可能とするかどうかを設定します。 • 設定値： UNLOCK* 、 LOCK
NEEDLE LOCK	再生中に WAVEFORM 表示の触れた位置から再生開始可能にするかどうかを設定します。 • 設定値： UNLOCK 、 LOCK* • [LOCK] に設定すると、一時停止中、または VINYL モードでジョグの天面に振れているときのみ、WAVEFORM 表示の触れた位置から再生を開始できます。
QUANTIZE BEAT VALUE (DECK) ¹	クオンタイズの拍数を設定します。 • 設定値： 1/8 拍 、 1/4 拍 、 1/2 拍 、 1 拍*
HOT CUE AUTO LOAD ¹	トラックのロード時に自動でホットキューを呼び出すかどうかを設定します（77 ページ）。 • 設定値： OFF 、 rekordbox SETTING 、 ON*
HOT CUE COLOR	パフォーマンスパッド [HOT CUE] (A ~ H) の点灯色設定を指定します（75 ページ）。 • 設定値： OFF* 、 ON
AUTO CUE LEVEL	オートキューで無音部として認識する音圧レベルを設定します。 • 設定値： -78dB 、 -72dB 、 -66dB 、 -60dB 、 -54dB 、 -48dB 、 -42dB 、 -36dB 、 MEMORY* • [MEMORY] は、保存されているキューポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。画面の [AUTO CUE] が白色で点灯します。

設定項目	説明
SLIP FLASHING	[SLIP] ボタンを押したときに、スリップ機能が働くボタンなどのインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。 設定値：OFF、ON*
ON AIR DISPLAY	WAVEFORM 画面にオンエア表示（26 ページ）を表示するかどうかを設定します。 設定値：OFF、ON*
VINYL SPEED ADJUST	VINYLモードの再生と停止の速度の調整方法を設定します（60 ページ）。 設定値：TOUCH&RELEASE*、TOUCH、RELEASE
PLAY MODE	トラックの再生方法を変更します。 - 設定値：CONTINUE、SINGLE*、REPEAT、ALL REPEAT [CONTINUE] : オートキューがオンの場合はオフに切り替え、トラックの終わりに到達すると自動で次のトラックをロードします。 [SINGLE] : トラックの終わりに到達すると再生が停止します。次のトラックは自動でロードされません。 [REPEAT] : トラックをリピート再生します。 [ALL REPEAT] : オートキューがオンの場合はオフに切り替え、カテゴリー／フォルダー内のすべての曲をリピート再生します。
WAVEFORM CURRENT POSITION	拡大波形に表示する現在再生位置（中央または左側）を設定します。 設定値：CENTER、LEFT*
WAVEFORM DIVISIONS	プレーイングアドレスの下に表示する内容を設定します。 - 設定値：TIME SCALE、PHRASE* [TIME SCALE] : 30 秒間隔で目盛を表示します。 [PHRASE] : rekordbox で解析した PHRASE DATA を表示します。 - PHRASE DATA がない場合は、TIME SCALE が表示されます。

設定項目	説明
	ジョグ表示部のアートワーク表示部に表示する内容を設定します。
IMAGE ON JOG DISPLAY	- 設定値：ARTWORK*、CUSTOM IMAGE [ARTWORK]：ロードされているトラックのアートワークを表示します。 [CUSTOM IMAGE]：ロードされているトラックが保存されている記録デバイス（USB）のルート階層に保存してあるJPEGデータを表示します。800 x 800 ピクセルより大きいサイズの画像は表示できません。

^① **[SHORTCUT]** 画面から設定することもできます。

❖ MIXER カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
EQUALIZER CURVE ^①	[EQ/ISO (HI、MID、LOW)] ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します。 設定値：EQUALIZER*、ISOLATOR
CHANNEL FADER CURVE ^①	チャンネルフェーダーカーブを設定します（86 ページ）。 設定値： CURVE1、 CURVE2*、 CURVE3
MASTER ATTENUATOR	[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-12dB、-6dB、0dB*
BOOTH MONITOR ATTENUATOR	[BOOTH] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-12dB、-6dB、0dB*
MIC OUT TO BOOTH	マイクの音声を [BOOTH] 端子に出力するかどうかを設定します。 設定値：ON*、OFF

設定項目	説明
MIC OUT TO MASTER REC	マイクの音声を MASTER REC（録音音声）に出力するかどうかを設定します。 設定値：ON*、OFF
HEADPHONES MONO SPLIT/STEREO ¹	ヘッドフォンの出力音声（モノラル／ステレオ）を設定します。 設定値：MONO SPLIT、STEREO*
MIXER MODE ¹	操作モードを設定します。 設定値：XDJ-RX3*、MIDI CONTROL

¹ [SHORTCUT] 画面から設定することもできます。

❖ GENERAL カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
LANGUAGE	画面表示言語を設定します。
LCD BRIGHTNESS ¹	画面表示の明るさを調整します。 設定値：1、2、3*、4、5
JOG LCD BRIGHTNESS ¹	ジョグ表示部の明るさを設定します。 設定値：1、2、3*、4、5
SCREEN SAVER	スクリーンセーバーを設定します。 - 設定値：OFF、ON* [ON] に設定すると、以下のときにスクリーンセーバーが起動します。 - 本機にトラックがロードされていない状態で5分以上何も操作されないとき - 一時停止、キュー待機状態、またはトラックの終わりに到達した状態のまま100分以上何も操作されないとき - 本機を操作するとスクリーンセーバーは解除されます。

設定項目	説明
TOUCH DISPLAY CALIBRATION	画面に表示される [+] を順番にタッチして、タッチディスプレイのずれを修正します。 • タッチしたときに [+] が移動しない場合は、長めにタッチしてください。 • 設定する際、ボールペンのような先のとがった物は使用しないでください。
POWER MANAGEMENT	パワーマネジメント機能を設定します（114 ページ）。 • 設定値：NEVER、20min*
VERSION No.	本機のソフトウェアバージョンを表示します。

¹ **[SHORTCUT]** 画面から設定することもできます。

パワーマネジメント機能

[POWER MANAGEMENT] を **[20min]** に設定しているときに、以下の状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。

- ー 本機に音声信号が入力されていない
- ー 記録メディア（USB）がセットされていない。
- ー USB 端子（本体リア部）にコンピューターが接続されていない。

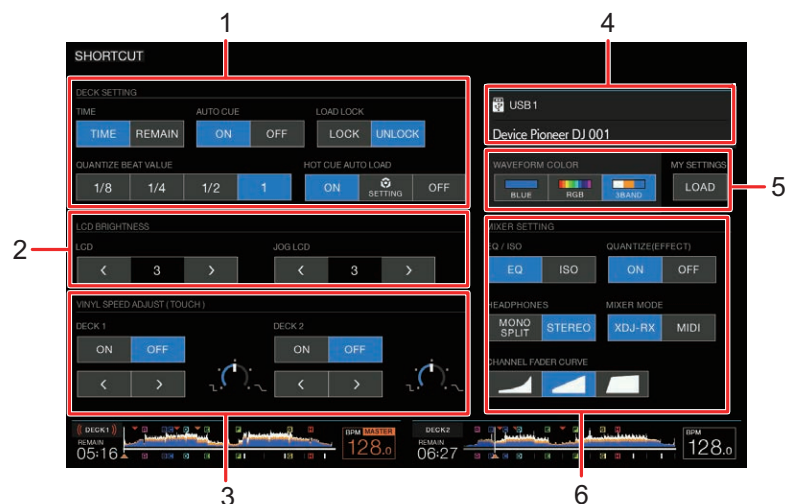
[MASTER REC (WAKE UP)] ボタンを押すと、オフモードが解除されます。

- 本機は、パワーマネジメント機能を **[20min]** に設定して出荷しています。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは **[NEVER]** に設定してください。
- パワーマネジメント機能を **[NEVER]** にしたときは、消費電力が増加することがあります。

SHORTCUT 画面から設定を変更する

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。



1. デッキ設定
2. LCD 設定
3. VINYL SPEED ADJUST 設定
4. デバイス情報
5. デバイス設定
6. ミキサー設定

2 設定値を選択する

🔍 「SHORTCUT 画面の設定項目」 (116 ページ)

- もう一度 [SHORTCUT] ボタンを押すと、[SHORTCUT] 画面を閉じます。

SHORTCUT 画面の設定項目

設定項目	説明
DECK SETTING	
TIME	両デッキの時間表示の [TIME] （経過時間表示）と [REMAIN] （残り時間表示）を切り替えます。
AUTO CUE	両デッキのオートキューをオン／オフします。
LOAD LOCK	
QUANTIZE BEAT VALUE	UTILITY 設定と同様の内容を設定します（110 ページ）。
HOT CUE AUTO LOAD	
LCD	
LCD BRIGHTNESS	
JOG LCD BRIGHTNESS	UTILITY 設定と同様の内容を設定します（110 ページ）。
VINYL SPEED ADJUST	
DECK 1	VINYL SPEED ADJUST 機能をオン／オフします。
DECK 2	[<] / [>] をタッチして、速度を設定します。
デバイス設定	
WAVEFORM COLOR	波形の色を変更します。
MY SETTINGS	[LOAD] をタッチして、記録メディア（USB）から MY SETTINGS 情報を読み込みます（118 ページ）。
MIXER SETTING	
EQUALIZER CURVE	UTILITY 設定と同様の内容を設定します（110 ページ）。

設定項目	説明
QUANTIZE (EFFECT)	BEAT FX 用のクオンタイズ機能をオン／オフします。
HEADPHONES MONO SPLIT/ STEREO	
MIXER MODE	UTILITY 設定と同様の内容を設定します（110 ページ）。
CHANNEL FADER CURVE	

記録メディア（USB）から MY SETTINGS を読み込む

記録メディア（USB）に保存されている **[MY SETTINGS]** の設定を、本機に読み込みます。

- PRO DJ LINK で接続している rekordbox から読み込むこともできます。

1 記録メディア（USB）を本機にセットする

- ☞ 「メディアの挿入と取り外し」（34 ページ）

2 **[SOURCE]** ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

- ☞ 「SOURCE 画面」（23 ページ）

3 デバイスを選択する

4 **[SHORTCUT]** ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

5 **[MY SETTINGS]** の **[LOAD]** をタッチする

MY SETTINGS 設定を本機に読み込みます。

- 再生中は実行できません。一時停止してください。
- もう一度 **[SHORTCUT]** ボタンを押すと、**[SHORTCUT]** 画面を閉じます。

スペック

仕様

一般

電源	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	54 W
消費電力 (OFF 時)	0.3 W
本体質量	9.3 kg
最大外形寸法	(W x H x D) 728.1 × 118.4 × 469.5 mm
許容動作温度	+5 °C ~ +35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

オーディオ部

サンプリングレート	44.1 kHz
A / D, D / A コンバーター	24bit
周波数特性	

USB, LINE, AUX (LINE / PORTABLE), MIC1, MIC2 20 Hz ~ 20 kHz

S / N 比 (定格出力時、A-WEIGHTED)

USB	110 dB
LINE	94 dB
PHONO	83 dB
AUX (LINE)	94 dB
AUX (PORTABLE)	88 dB
MIC	81 dB

全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHzBW)

USB	0.003 %
LINE	0.006 %
PHONO	0.020 %

基準入力レベル / 入力インピーダンス

LINE	-12 dBu / 47 kΩ
PHONO	-52 dBu / 47 kΩ
AUX (LINE)	-12 dBu / 47 kΩ
AUX (PORTABLE)	-24 dBu / 47 kΩ
MIC	-57 dBu / 3 kΩ

基準出力レベル / 負荷インピーダンス / 出力インピーダンス

MASTER1	+6 dBu / 10 kΩ / 450 Ω 以下
---------------	---------------------------

MASTER2	+2 dBu / 10 kΩ / 1 kΩ 以下
BOOTH	+6 dBu / 10 kΩ / 530 Ω 以下
PHONES	+8 dBu / 32 Ω / 1 Ω 以下
定格出力レベル / 負荷インピーダンス	
MASTER1	+25 dBu / 10 kΩ
MASTER2	+21 dBu / 10 kΩ
クロストーク	
LINE	87 dB
PHONO	74 dB
チャンネルイコライザー特性	
HI	- ∞ dB ~ +6 dB (20 kHz)
MID	- ∞ dB ~ +6 dB (1 kHz)
LOW	- ∞ dB ~ +6 dB (20 Hz)
マイクイコライザー特性	
HI	-12 dB ~ +12 dB (10 kHz)
LOW	-12 dB ~ +12 dB (100 Hz)
入力 / 出力端子	
PHONO 入力端子	
RCA ピンジャック	2 系統
LINE 入力端子	
RCA ピンジャック	2 系統
MIC 入力端子	
XLR コネクター & 1/4"TRS ジャック	2 系統
AUX 入力端子	
RCA ピンジャック	1 系統
3.5 mm ステレオミニジャック	1 系統
MASTER1 出力端子	
XLR コネクター	1 系統
MASTER2 出力端子	
RCA ピンジャック	1 系統
BOOTH 出力端子	
1/4"TRS ジャック	1 系統
PHONES 出力端子	
1/4" ステレオフォンジャック	1 系統
3.5 mm ステレオミニジャック	1 系統
USB 端子	
A タイプ	2 系統
電源供給	5 V / 1 A 以下

B タイプ 1 系統

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目および、Pioneer DJ サポートページから **[XDJ-RX3]** の **[よくある質問 (FAQ)]** を確認してください。

pioneerdj.com/support/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

エラー表示

❖ E-8302（エラータイプ：CANNOT PLAY TRACK）

記録メディア内の楽曲ファイルを正常に読み取れません。

楽曲ファイルが破損している可能性があります。

本機で再生可能なフォーマットのファイルを再生できる別のプレーヤーなどを使って、再生できるかを確認してください。

❖ E-8304／E-8305（エラータイプ：UNSUPPORTED FILE FORMAT）

本機が対応していないフォーマットの楽曲ファイルがロードされています。

本機が対応しているフォーマットの楽曲ファイルを使用してください（10 ページ）。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が現れることがありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所で使用する際は、本機の電源をオンにしたあと液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たって画面表示が見えにくいときは、直射日光をさえぎってください。

クリーニングについて

液晶画面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- 有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

タッチディスプレイについて

- 操作は指で行い、無理な力をかけないでください。
- 指以外の物、特にボールペン、シャープペンシル、とがった爪先など、先端の硬い物や先端の鋭利なもので操作しないでください。

商標および登録商標について

- rekordbox™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- PRO DJ LINK™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- Mac、macOS および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH. の商標または登録商標です。
- Serato DJ Pro は Serato Limited 社の登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android は Google LLC の商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3 の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされていません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2021 AlphaTheta 株式会社 禁無断転載

<DRJ1088-C>